



FUJI SASH

# FUJI SASH SUSTAINABILITY REPORT 2023

不二サッシ サステナビリティレポート



# 不二サッシは 窓から夢をひろげていきます

基本姿勢

私たちはお客様との絆を大切にします

行動規範

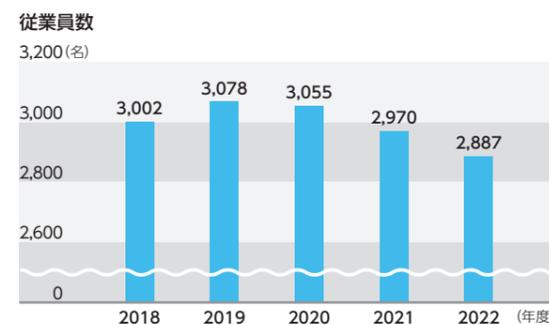
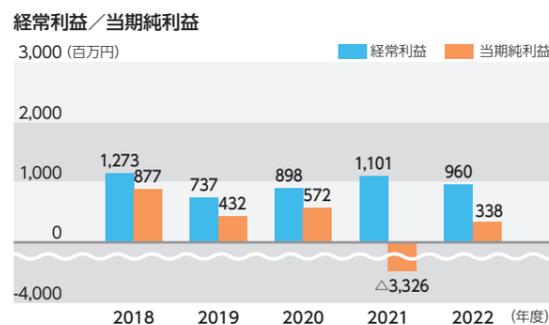
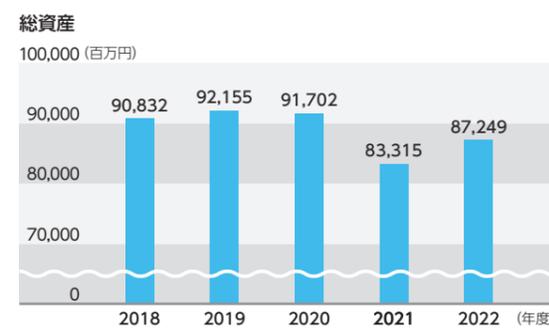
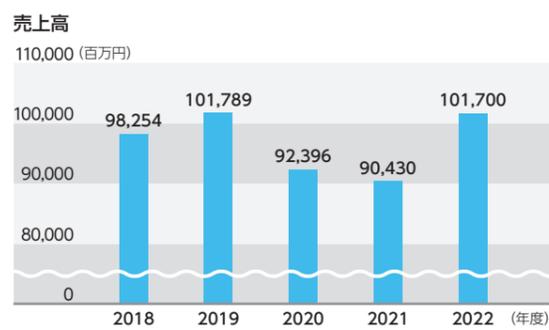
私たちは心をこめた商品を世に出します

私たちは活力あふれる気風づくりに努めます

会社概要

商号	不二サッシ株式会社 (FUJI SASH CO.,LTD.)
本社所在地	神奈川県川崎市幸区 鹿島田1丁目1番2号
創業	1930(昭和5)年7月7日
設立	1969(昭和44)年5月1日
資本金	1,709,609,300円
従業員数	894名(連結 2,887名) (2023年3月31日現在)

不二サッシグループ生産拠点



編集方針

本レポートは、サステナブルな社会実現への貢献を目指した不二サッシグループの活動や考え方を、ステークホルダーの皆様にご理解いただくことを目的として発行しています。

2023年度版のポイント

2023年度より「CSR報告書」を「サステナビリティレポート」に改称しています。これまでの価値創造の歴史を振り返り、新たに価値創造モデルとして整理しています。  
「ガバナンス」では、サステナビリティに関する考え方とリスク管理体制を掲載しています。  
また、不二サッシグループのバリューチェーンを示すとともに、それぞれにおいて未来に向けた方向性と取り組みを紹介しています。

Webマークの項目は当社ホームページ上で詳細情報をご覧いただけます。

●参考にしたガイドラインおよびガイダンス

- ・環境省：環境報告ガイドライン2018年度版
- ・GRIスタンダード
- ・ISO26000：社会的責任に関する手引き
- ・国際統合報告フレームワーク

●対象範囲

不二サッシ(株)および関連会社特定の範囲を示す場合は本文にその旨を表記しています。

●対象期間

2022年4月1日～2023年3月31日  
※一部対象期間以外の情報も含まれます。

目次

経営理念/会社概要	2
目次/編集方針	3
トップメッセージ	4

価値創造ストーリー

価値創造プロセス	8
中期経営計画(2022-2024年度)	10
価値創造のあゆみ	12
不二サッシグループの製品・サービス	14
アルミサッシの製造に関わるバリューチェーン	18
サステナビリティマネジメント	20

価値創造の基盤

## Governance

サステナビリティの基本的な考え方	22
コーポレートガバナンス	22

## Social

お客様とともに

製品品質・安全への取り組み	24
2022年度活動実績	24

社会とともに

不二サッシグループ各社の活動	25
----------------	----

従業員とともに

TOPICS	26
人権の尊重	27
人材育成	28
労働安全衛生	28
ワークライフバランス	29

## Environment

脱炭素に向けた取り組み	30
環境負荷低減に向けた取り組み状況	31

## Communication

ステークホルダーとのコミュニケーション	34
第三者意見	35



Top Message

## サステナブルな社会実現への貢献 「選ばれる企業グループへ」

代表取締役社長 **江崎 裕之**

### 次の100年を見据えた持続可能性のある 企業経営を実践

不二サッシグループは、1930年に創業して以来「窓から夢をひろげていきます」を経営理念に掲げ、アルミサッシを中心とした建材の製造を手掛けるメーカー兼エンジニアリング企業として着実に地歩を固めてきました。間近に迫った2030年に創業100周年を迎える当グループは、さらにその先の100年を見据えて持続可能性のある企業経営に努め、事業規模や収益性の拡大のみならず、本業を通じて社会課題の解決に貢献し、ESG分野の企業価値向上に取り組んでいきます。

2022年を初年度とする中期経営計画では、メインメッセージを「サステナブルな社会実現への貢献「選ばれる企業グループへ」」と定め、環境負荷を軽減するものづくりとプロセス革新を推進しています。さらに2023年5月には、サステナビリティの取り組みを効率的に進めるための専門組織である「サステナビリティ推進室」を立ち上げました。今後は、このサステナビリティ推進室を中心に、SDGsへの貢献やTCFD(Task Force on Climate-related Financial Disclosures)提言に基づく気候変動関連財務情報開示など、これまでより一段階レベルアップしたサステナブル経営を推進していく計画です。

### 自社の強みを生かし、脱炭素社会と 循環型経済に貢献する

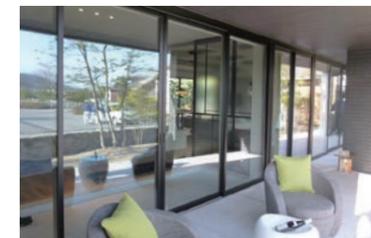
当社が手掛ける窓やドアなど建物の開口部に使われる建材は、脱炭素社会の実現、気候変動により激甚化する自然災害への対応、建物自体の防犯性能向上など、現代社会に存在する様々な社会課題と密接な関係があります。リサイクル性に優れたアルミ素材を中心に鋳造から組立まで一貫通で製品生産を行うメーカーという強みを生かし、脱炭素社会や循環型経済の実現に貢献しています。

温室効果ガスの削減においては、「省エネ」「創エネ」「設備省エネ」という活動の三本柱で考えています。そして当社の温室効果ガス削減目標が科学的根拠に基づくものであることを証明するため、2022年2月にはSBTi(Science Based Targets initiative)へコミットメントレターを送付しました。2023年度中にもSBT(Science Based Targets)認定取得が実現する可能性があります。

「省エネ」については、法令が定める外皮性能等の省エネ基準が年を追うごとに厳しくなっていることを踏まえ、省エネ基準を先取りし、常に世の中の動きの一步先を見据えたものづくりを進めています。製品の設計から製造まで自社で行うという当社の強みが、外部から基準が示されるのを待つことなく、自ら時代の要請を先読みした製品を作る



アルミリサイクル



断熱サッシ



暴風雨試験



地震ダメージ評価試験体

ことを可能にしています。

また「創エネ」に関しても、開口部の建材メーカーである強みを存分に生かした特徴ある製品開発を進めてきました。窓は屋根と並んで建物の中で最も太陽光を受けやすい部分であることから、窓ガラスの中に太陽光発電モジュールを組み込んだカーテンウォールを提携企業と共同開発して市場に投入しています。また、国内外の生産工場にメガソーラーパネルの設置を進めています。2023年6月現在、国内は千葉工場と関西不二サッシに設置済みで、年間およそ4,000MWhの電力を発電しています。海外でもフィリピン社の工場へ新たに導入します。これからも再生可能エネルギーの利用割合を増やすべく、積極的に再生可能エネルギー発電設備の導入を進めていきたいと考えています。

一方、「設備省エネ」は、工作機械を省エネタイプに更新する計画が遅れるなど、活動の三本柱の中でも今後の課題となっています。2023年以降の設備投資計画では、これまでと発想を変えて、先にサステナビリティへの貢献度を検討し、その目的からバックキャストする形で投資計画に盛り込みたいと考えています。

また、当社は循環型経済の実現に貢献するため、アルミのリサイクル率向上に継続的に取り組んできました。2023年6月現在で60%以上となっていますが、2023年度中には70%まで高めたいと考えています。最終的には100%リサイクルを目標に進めていきます。足元では現行のリサイクル法に沿って段階的にリサイクル率を引き上げると同時に、簡単な目標ではないからこそ、100%リサイクルを実現できる技術イノベーションにも積極的にチャレンジしていきます。

### 過去最大規模の自然災害にも耐える建物で 人々を守る

近年では、「50年に一度の大雨」「過去に例のない強風・浸水被害」と毎年耳にするほど、今まで経験したことのない規模の自然災害が頻発していますが、こうした自然災害の激甚化・頻発化は地球温暖化の影響によるものと考えられています。また、東日本大震災以降、建物の損壊を伴うような地震被害が全国各地で発生しています。当社では、事業を通じた社会課題解決として、人々の命を守る防災・防犯機能に優れた建材の開発にも注力しています。

サッシやドアの性能はJIS(日本産業規格)に規定されていますが、最近の異常気象といわれる台風の大型化、突風や竜巻の発生、雨の強さや降雨量の増大などを考慮し、「耐風圧性」や「水密性」はJISに規定されているグレードよりも高い性能が求められています。こうした災害にも対応できる製品を業界の動向よりも先回りして開発していかなければ、これまでの常識で作った製品では近い将来に役に立たなくなるのではないかと、そういう切迫感を常に感じています。

また、地震による被害を防ぐという意味では、大地震発生後、一見健全に見える建物でも大きなダメージを受けている可能性があります。このような場合には、専門家による調査を行う必要があり、多くの時間と労力を費やします。現在、将来起こりえる巨大地震に備え、地震後の建物のダメージが外から見てわかり、二次被災を防止するカーテンウォールを産官学連携で開発しています。この製品の長は、当社の光建材商品にセンシング技術を組み合わせ、カーテンウォールに組み込むことで、建物が損傷している



## 不二サッシグループ人権方針

### 基本方針

不二サッシグループは、「経営理念」に基づき、人権の尊重をサステナブルな社会実現への課題の一つとして、すべての事業活動において、ひとり一人が、「あらゆるステークホルダーの人権が尊重されることが不可欠であること」を認識して行動し、『人権尊重の責任』を果たします。

### 行動指針

不二サッシグループは、事業活動、製品及びサービスにおける全事業領域の活動として、以下の行動指針に従い人権尊重を徹底致します。

- 1 『国際人権章典』及び『労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言』に定められている人権を尊重するとともに、人権尊重に関連した法令及び規範を遵守します。
- 2 出生、国籍、人種、民族、信条、宗教、性別、性的指向、性自認、年齢、各種障がい、趣味、学歴、家族等に基づく差別やハラスメントを許しません。また、強制労働及び児童労働を許しません。
- 3 お客さまとの絆を大切に、お客さまの安全・安心を最優先し、製品に関する品質及び安全性等の情報を速やかに開示していきます。

- 4 販売、調達先を中心としたビジネスパートナーとの関係において人権を尊重するとともに、ビジネスパートナーに対し、サプライチェーンで影響を受ける人々の人権を尊重し、侵害しないよう求めていきます。
- 5 従業員ひとり一人がお互いを尊重する自由闊達で誠実なコミュニケーションが行われる職場環境を目指し活力あふれる気風づくりに努めます。
- 6 人権デューデリジェンスのプロセスを通じて、人権への負の影響を特定して防止と軽減に継続性をもって努めます。
- 7 本方針が社内外に浸透するよう適切な教育研修を継続して実施していきます。
- 8 人権に対する負の影響を及ぼすようなことがあった場合、適切な手続きを通じてその是正に取り組めます。事業活動にともなう人権への負の影響を把握するため、社内向けに企業倫理ホットライン、社外向けにお問合せ窓口を設けています。
- 9 本方針に関する人権尊重に対する取組みをウェブサイト等のコミュニケーション手段を通じて開示していきます。

以上

のかどうかをLEDにてアラート表示する点です。その建物が安全かどうかLEDの色で識別しているため、一般の人が見て、二次被害のリスクを判断することができます。また、このカーテンウォールを例えば避難所に指定されている建物に採用することによって、被災された方々を安全な場所へ誘導することができます。夜間時には、暗い中、避難場所がわかりにくい状況において、パニックの発生を抑制し、安心して避難場所へ誘導するものとしても活用できるのではないかと考えています。

### 人の多様性を尊重するとともに 人的資本活用の戦略として「多能工化」を推進

ここまで述べたような「社会課題解決に資する製品」を開発し続けるためには、世の中の様々な変化に対応し、常にその一歩先を読むことのできる優れた人材を育てることが欠かせません。

私が社長に就任するにあたって社員に伝えたのは、「強い者や賢い者ばかりが勝つのではなく、環境の変化に対応できる者が生き残る」ということでした。これはもちろんダーウィンの進化論の一節をオマージュした言葉ですが、今私たちを取り巻くビジネス環境は、30年前の企業経

営であれば求められなかったサステナビリティ経営が当たり前になるなど劇的に変化しています。そして、当社においてその変化に対応できる人材になるための第一歩が、「多能工」(マルチタレント)になることだと私は考えています。振り返れば、当社は特定分野に長けた人材に恵まれてきた一方、複数の分野を高いレベルでこなすことのできる「多能工」と呼ぶべき人材を育ててこなかったように思います。今の時代、経営者には「生産性の向上」と「働き方改革」を同時に推進するという、難しいかじ取りを迫られることが必然になっています。生産性の向上については、AIの活用やDXの推進である程度カバーできますが、同時に変化に適応し複数の分野で力を発揮できる人材を育てる。そのための投資を加速させていく必要を感じており、今後はDXと人的資本への投資を長期的な成長戦略の両輪と位置付けて力強く推進していく考えです。

人材の多能工化は、技術開発の世界に留まらず、サステナビリティにも通じるものだと思います。例えば、かつて当社は「メーカーは従業員の女性比率が低くて当たり前」という閉じこもった考えを持っていましたが、近年発想を変え、女性活躍を推進しようとしています。以前であれば、営業事務として入社した女性社員はその後営業事務を担当し続けることが多かったのですが、現在では積算

人材の多能工化は、技術開発の世界に留まらず、サステナビリティにも通じるものだと思います。



や作図などの専門技能を身に付けて活躍する女性社員が半数以上を占めるなど、新たな分野での女性活躍が進展しています。

また「人の多様性の尊重」という意味では、当社は約30年前から滋賀県と共同で障がい者雇用に取り組んでいます。滋賀県草津市における社会福祉法人メイブルの設立に関わり、今も運営等の支援を継続しています。同法人では多いときで50名程度の障がいを持つ人と契約し工場でも働いてもらっています。障がいの度合いによって製造する製品や作業内容を変更するなど、長年にわたり誰もが生き生きと働ける職場環境の整備に努めた結果、2022年9月には滋賀県より「障がい者雇用優良事業所」として表彰されました。

こうした取り組みの延長として、近年では労働者の「人権」を守る活動にも力を入れており、取締役会において人権に配慮した経営の推進を決議し、取り組むべき課題と今後の方針について説明しました。当社の場合、鋳造から組立まで製造工程のほとんどを自社で行うことから、生産を外部に委託している企業より人権リスクを把握しやすいという強みがあると考えています。

### 気づきを与え続けることが 組織のトップである私の役割

サステナビリティとは、目の前の課題を解決し一定の目標を達成すればそこで終わりではなく、この先もずっと変わらず続けていく終わりなき取り組みです。そして、当社が次の100年を見据えて成長していくうえで欠くことのできないものだと考えています。

不二サッシグループのトップとして私が果たすべき役割は、その重要性を社員に伝え続け、気づきを与え続けることだと考えています。このまま気候変動にプレークリがつかず世界の平均気温が4℃上昇すると、当社が沿岸地域に構えている工場も海面上昇によって浸水リスクが高まります。私自身その話を聞いた際、気候変動は他人事ではなく当社のBCPに直接関わるリスクだと気づかされました。この気づきを全社員で共有することができれば、社員一人ひとりが地球環境とものづくりの関係性について考えることにつながり、さらには一人ひとり行動そのものが変わってくると信じています。そのため私は、これからもサステナビリティの重要性について伝え続けていきたいと思っています。

### ステークホルダーの皆様へ

不二サッシグループは、その身の丈に合ったサステナビリティ活動として、主に製品やサービスを通じて、市場ニーズの一歩先を読んだ新たな価値を提供していきたいと考えています。サステナビリティに関することであれば、手あたり次第に取り組むのではなく、事業と関わりが深い分野から重点的に取り組み、徐々にその範囲を拡大していきたいと思っています。当社の事業が持続可能であるとともに、社会全体が持続可能である世界を目指して、当社の強みを生かしたサステナビリティ活動を展開していきます。そして、サステナビリティの世界で当社および当社製品の認知度を高め、財務・非財務両面の企業価値を高めてまいります。

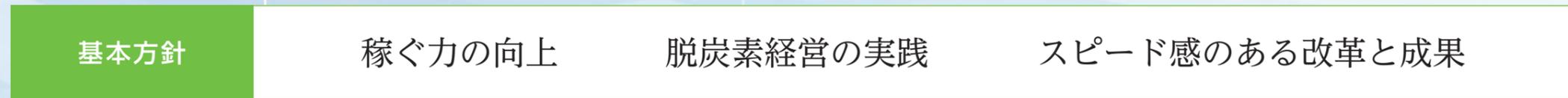
# 価値創造プロセス

創業以来90年を超える歴史の中で培ってきた「技術力」と「提案力」、そしてグループ間連携を活かしたサッシの一貫生産による確かな「品質」を基盤として、社会の夢を広げる価値創造プロセスの推進に取り組んでいます。持続可能な社会の実現への貢献を通じて企業価値を高め続け、持続可能な成長を目指します。



## 中期経営計画(2022-2024年度)

不二サッシグループは2022年度を初年度とする中期経営計画(2022-2024年度)を策定いたしました。「窓から夢をひろげていきます」の経営理念のもと「お客様との絆を大切にします」「心をこめた商品を世に出します」「活力あふれる気風づくりに努めます」を社員の行動規範とし、エンジニアリング企業としてお客様に最適な形での提供に努めてきました。2030年に迎える創業100周年に向け、環境・社会課題を解決するものづくりやプロセス革新を続けることで持続可能な社会の実現に貢献するとともに強靱な事業基盤を確立し、すべてのステークホルダーの皆様から「選ばれる企業グループ」として持続的成長を目指してまいります。



### 基本戦略

- 変革(DXの加速等)へ挑戦し、生産性向上・営業強化を図る**
  - ① 生産設備の自動化、ロボット化の推進
  - ② 間接部門の生産性向上
  - ③ 営業プロセスの再構築による営業強化
- 事業領域・エリアを拡大し、新規・注力事業を強化する**
  - ① 環境配慮商品の拡充(樹脂、樹脂複合、自然換気商品等)
  - ② リニューアル事業の拡大
  - ③ アルミ加工品事業の拡大
  - ④ 現地法人を活動拠点に海外事業を強化
- ESG・SDGs貢献への取り組み**
  - ① SBT認定取得、TCFD提言への賛同
  - ② ダイバーシティの推進
  - ③ アルミリサイクル材を活用した資源循環の実現

### 循環型ビジネスの拡大に向けて

様々なアプローチで3Rに取り組み、循環型ビジネスを目指してまいります。



### 不二サッシグループが取り組むSDGs

SDGsを経営戦略の重要事項と捉え、社会情勢や事業環境を踏まえて重要課題を設定し、それらの達成により、社会課題の解決と経営戦略の共通価値の創造を目指します。

- 3 3 すべての人に健康と福祉を** 健康経営  
有給休暇取得促進  
働きやすい職場環境
- 4 質の高い教育をみんなに** キャリア開発のための取り組み  
人材育成の強化、拡充
- 5 ジェンダー平等を実現しよう** ダイバーシティ推進  
働き方改革  
女性活躍推進
- 7 再生可能エネルギーを拡大しよう** 再生可能エネルギー創出
- 8 働きがいも経済成長も** 働きがい・従業員満足度向上  
人材育成  
「ホワイト物流」推進運動
- 9 産業と雇用創出を促進しよう** 断熱省エネ関連商品の開発  
ガバナンス・コンプライアンス強化
- 11 住み続けられるまちづくりを** 断熱省エネ関連商品の開発  
都市防災・インフラのBCP強化への貢献
- 12 つくる責任 つかう責任** グリーン調達に向けた部品材質へ切り替え  
資源の有効活用およびゼロエミッション推進  
製品含有の化学物質削減
- 13 気候変動に具体的な対策を** SBT認定取得  
運搬車のCO<sub>2</sub>削減  
アルミリサイクル比率増
- 14 海の豊かさを守ろう** 環境エンジニアリング事業による貢献  
資源の有効活用およびゼロエミッション推進
- 15 陸の豊かさも守ろう** 環境エンジニアリング事業による貢献  
資源の有効活用およびゼロエミッション推進
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう** ステークホルダーとの協働

# 価値創造のあゆみ

私たちは1930年の創業以来、サッシの製造事業を通じてビルや住宅における快適な居住環境を追求してきました。特に1958年に国内で初めて製造販売を開始したアルミサッシ分野では、一貫生産のアルミサッシ・カーテンウォールのパイオニアとして国内外のビッグプロジェクトに参加し、都市景観の創造に寄与してきました。

90年以上の歴史の中で培った技術力と提案力は、今までもこれからも不二サッシの価値創造プロセスの基盤を成すものです。

そして現在は、2030年に迎える創業100周年を見据えた事業基盤の確立を目指した足場固めを行うとともに、持続可能な社会の実現に貢献し、ステークホルダーから選ばれる企業グループを目指してさらなる変革へ挑戦しています。

2030

中期経営計画

2020

創造

躍進

改革

2010

2000

1990

1980

1970

1960

1950

1940

1930

## グループおよびサステナビリティ体制・情報公開

- 2022 ●「不二サッシグループ人権方針」策定
- 2020 ●「瀋陽遠大鋁業工程有限公司」との業務提携
- 2019 ●日本防水工業(株)、日本スプレー工業(株)が新たに不二サッシグループに  
●不二サッシグループ SDGsへの賛同表明
- 2018 ●アジアニッカイ(株)、北海道住宅サービス(株)、高槻ダイカスト(株)が新たに不二サッシグループに
- 2017 ●不二サッシベトナム社設立  
●CSR報告書発行開始(社会環境報告書から移行)
- 2016 ●台湾に合併会社「不二天股份有限公司」を設立
- 2010 ●コンプライアンスマニュアル制定
- 2009 ●文化シャッター(株)と「資本および業務提携に関する基本合意書」を締結
- 2007 ●九州不二サッシ(株)を承継会社とする資材統合新会社を発足  
これに伴い社名を不二ライトメタル(株)に改める
- 2006 ●(株)不二サッシ九州を承継会社とし「九州地域製販一体新会社」を発足
- 2004 ●九州不二サッシ(株)を完全子会社化  
●環境報告書公表開始(2015年社会環境報告書に改題)
- 2001 ●全国22販売会社を全国6広域販売会社に再編  
●ISO14001認証取得
- 1997 ●ISO9001認証取得
- 1995 ●神奈川不二サッシ(株)と東京不二ホームサービス(株)が合併し、  
不二サッシリニューアル(株)に商号変更
- 1994 ●不二サッシフィリピン社設立
- 1992 ●東京証券取引所市場第二部に株式上場
- 1990 ●経営理念「窓から夢をひろげていきます」制定
- 1981 ●不二サッシ工業(株)、不二サッシ販売(株)、不二サッシ(株)(旧 東洋ハウジング(株))  
3社合併により、不二サッシ(株)として新発足
- 1969 ●東洋ハウジング(株)設立(不二サッシ(株)の旧社名)  
●九州不二サッシ(株)設立
- 1966 ●不二倉業(株)設立
- 1958 ●日本で初めてビル用アルミサッシの製造・販売を開始
- 1957 ●米国フェントロン社と技術提携しアルミサッシの技術を導入
- 1930 ●鋼製建具の製造を目的に(株)不二サッシ製作所設立(旧 不二サッシ工業(株))

## 事業を通じたステークホルダーの価値創造

健康・医療	人材活用	まちを支える	循環型社会	エネルギー	気候変動対策	汚染防止
<p>2022</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「不二サッシグループ人権方針」策定</li> </ul>	<p>2022</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「不二サッシグループ人権方針」策定</li> </ul>	<p>2022</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●アルビームプラス LED照明内蔵窓木ブッドデザイン賞</li> </ul>	<p>2022</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●不二サッシグループSBT認定取得に向けコミットメントレター提出</li> </ul>	<p>2022</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●アルビームインテリア販売</li> <li>●省エネ型エコ混練機の商品化</li> </ul>	<p>2022</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●アルミソーラー架台 2018 工業大賞</li> </ul>	<p>2022</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●次世代型ハイグレードサッシ「FNS-II 70」発売</li> </ul>
<p>2020</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●不二ライトメタル(株)「飛沫感染対策シリーズ」発売</li> </ul>	<p>2020</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「ホワイト物流」推進運動に参画</li> </ul>	<p>2020</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●Fフロント自動ドア用プロテクトスクリーン キッズデザイン賞</li> </ul>	<p>2020</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●二軸破砕機の販売を開始</li> </ul>	<p>2020</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ビル用環境配慮サッシ「ComfortCF」発売</li> <li>●次世代型高断熱防音サッシ「Super70AT」発売</li> </ul>	<p>2020</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自然風力換気窓ウインプレス開発(2009グッドデザイン賞)</li> </ul>	<p>2020</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「エコアマド」発売(2002グッドデザイン賞)</li> </ul>
<p>2016</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●不二ライトメタル(株)マグネシウム合金製医療機器部材の製造設備導入</li> </ul>  <p>マグネシウム合金製医療機器部材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●熊本県より医療機器製造業の認可</li> </ul>	<p>2016</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●女性活躍推進プロジェクト実施</li> <li>●明日の不二を考える若手プロジェクト実施</li> </ul>	<p>2016</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●防災備蓄倉庫・災害救助倉庫「Stock&amp;Toilet」発売</li> </ul>  <p>Stock&amp;Toilet</p>	<p>2016</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●千葉事業所第一発電所(メガソーラー)運用開始</li> <li>●LED搭載型カーテンウォールアルビームシステム開発</li> </ul>	<p>2016</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●千葉事業所第一発電所(メガソーラー)運用開始</li> <li>●LED搭載型カーテンウォールアルビームシステム開発</li> </ul>	<p>2016</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●千葉市原市との緊急災害協力井戸協定締結</li> </ul>	<p>2016</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「エコアマド」発売(2002グッドデザイン賞)</li> </ul>  <p>エコアマド</p>
<p>2015</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●不二ライトメタル(株)マグネシウム合金を使った医療機器開発を始動</li> </ul>	<p>2015</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の就労継続支援を行う事業場として、社会福祉法人メイプル設立</li> </ul>	<p>2015</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●次世代パリアフリーサッシ「フラットステージ」発売(2004グッドデザイン賞)</li> </ul>	<p>2015</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)荏原製作所と提携し、ダイオキシン類低温加熱分解装置の製造・販売開始</li> </ul>	<p>2015</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●グリーン調達ガイドライン作成</li> </ul>	<p>2015</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●次世代型高断熱防音サッシ「Super70AT」発売</li> </ul>	<p>2015</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「エコアマド」発売(2002グッドデザイン賞)</li> </ul>  <p>エコアマド</p>
<p>2009</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●文化シャッター(株)と「資本および業務提携に関する基本合意書」を締結</li> </ul>	<p>2009</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の就労継続支援を行う事業場として、社会福祉法人メイプル設立</li> </ul>	<p>2009</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●防災備蓄倉庫・災害救助倉庫「Stock&amp;Toilet」発売</li> </ul>  <p>Stock&amp;Toilet</p>	<p>2009</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●千葉カーテンウォール試験センター稼働</li> </ul>  <p>カーテンウォール試験センター</p>	<p>2009</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●グリーン調達ガイドライン作成</li> </ul>	<p>2009</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自然風力換気窓ウインプレス開発(2009グッドデザイン賞)</li> </ul>	<p>2009</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「エコアマド」発売(2002グッドデザイン賞)</li> </ul>  <p>エコアマド</p>
<p>2007</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●九州不二サッシ(株)を承継会社とする資材統合新会社を発足 これに伴い社名を不二ライトメタル(株)に改める</li> </ul>	<p>2007</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の就労継続支援を行う事業場として、社会福祉法人メイプル設立</li> </ul>	<p>2007</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●防災・備蓄倉庫「フジストックカー」発売</li> </ul>	<p>2007</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●サッシ表面処理工場が発生するアルミスラッジを利用したヘドロ汚泥の固化剤「アルサイト」開発</li> </ul>	<p>2007</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●グリーン調達ガイドライン作成</li> </ul>	<p>2007</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自然風力換気窓ウインプレス開発(2009グッドデザイン賞)</li> </ul>	<p>2007</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「エコアマド」発売(2002グッドデザイン賞)</li> </ul>  <p>エコアマド</p>
<p>2006</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)不二サッシ九州を承継会社とし「九州地域製販一体新会社」を発足</li> </ul>	<p>2006</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の就労継続支援を行う事業場として、社会福祉法人メイプル設立</li> </ul>	<p>2006</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●防災・備蓄倉庫「フジストックカー」発売</li> </ul>	<p>2006</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●サッシ表面処理工場が発生するアルミスラッジを利用したヘドロ汚泥の固化剤「アルサイト」開発</li> </ul>	<p>2006</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●グリーン調達ガイドライン作成</li> </ul>	<p>2006</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自然風力換気窓ウインプレス開発(2009グッドデザイン賞)</li> </ul>	<p>2006</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「エコアマド」発売(2002グッドデザイン賞)</li> </ul>  <p>エコアマド</p>
<p>2004</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●九州不二サッシ(株)を完全子会社化</li> <li>●環境報告書公表開始(2015年社会環境報告書に改題)</li> </ul>	<p>2004</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の就労継続支援を行う事業場として、社会福祉法人メイプル設立</li> </ul>	<p>2004</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●次世代パリアフリーサッシ「フラットステージ」発売(2004グッドデザイン賞)</li> </ul>	<p>2004</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)荏原製作所と提携し、ダイオキシン類低温加熱分解装置の製造・販売開始</li> </ul>	<p>2004</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●次世代パリアフリーサッシ「フラットステージ」発売(2004グッドデザイン賞)</li> </ul>	<p>2004</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自然風力換気窓ウインプレス開発(2009グッドデザイン賞)</li> </ul>	<p>2004</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「エコアマド」発売(2002グッドデザイン賞)</li> </ul>  <p>エコアマド</p>
<p>2001</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●全国22販売会社を全国6広域販売会社に再編</li> <li>●ISO14001認証取得</li> </ul>	<p>2001</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の就労継続支援を行う事業場として、社会福祉法人メイプル設立</li> </ul>	<p>2001</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●防災・備蓄倉庫「フジストックカー」発売</li> </ul>	<p>2001</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●サッシ表面処理工場が発生するアルミスラッジを利用したヘドロ汚泥の固化剤「アルサイト」開発</li> </ul>	<p>2001</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●全国22販売会社を全国6広域販売会社に再編</li> <li>●ISO14001認証取得</li> </ul>	<p>2001</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自然風力換気窓ウインプレス開発(2009グッドデザイン賞)</li> </ul>	<p>2001</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「エコアマド」発売(2002グッドデザイン賞)</li> </ul>  <p>エコアマド</p>
<p>1997</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ISO9001認証取得</li> </ul>	<p>1997</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の就労継続支援を行う事業場として、社会福祉法人メイプル設立</li> </ul>	<p>1997</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●千葉カーテンウォール試験センター稼働</li> </ul>  <p>カーテンウォール試験センター</p>	<p>1997</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)荏原製作所と提携し、ダイオキシン類低温加熱分解装置の製造・販売開始</li> </ul>	<p>1997</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●千葉カーテンウォール試験センター稼働</li> </ul>  <p>カーテンウォール試験センター</p>	<p>1997</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自然風力換気窓ウインプレス開発(2009グッドデザイン賞)</li> </ul>	<p>1997</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「エコアマド」発売(2002グッドデザイン賞)</li> </ul>  <p>エコアマド</p>
<p>1995</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●神奈川不二サッシ(株)と東京不二ホームサービス(株)が合併し、不二サッシリニューアル(株)に商号変更</li> </ul>	<p>1995</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の就労継続支援を行う事業場として、社会福祉法人メイプル設立</li> </ul>	<p>1995</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の就労継続支援を行う事業場として、社会福祉法人メイプル設立</li> </ul>	<p>1995</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●サッシ表面処理工場が発生するアルミスラッジを利用したヘドロ汚泥の固化剤「アルサイト」開発</li> </ul>	<p>1995</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●神奈川不二サッシ(株)と東京不二ホームサービス(株)が合併し、不二サッシリニューアル(株)に商号変更</li> </ul>	<p>1995</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自然風力換気窓ウインプレス開発(2009グッドデザイン賞)</li> </ul>	<p>1995</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「エコアマド」発売(2002グッドデザイン賞)</li> </ul>  <p>エコアマド</p>
<p>1994</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●不二サッシフィリピン社設立</li> </ul>	<p>1994</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の就労継続支援を行う事業場として、社会福祉法人メイプル設立</li> </ul>	<p>1994</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の就労継続支援を行う事業場として、社会福祉法人メイプル設立</li> </ul>	<p>1994</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●サッシ表面処理工場が発生するアルミスラッジを利用したヘドロ汚泥の固化剤「アルサイト」開発</li> </ul>	<p>1994</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●不二サッシフィリピン社設立</li> </ul>	<p>1994</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自然風力換気窓ウインプレス開発(2009グッドデザイン賞)</li> </ul>	<p>1994</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「エコアマド」発売(2002グッドデザイン賞)</li> </ul>  <p>エコアマド</p>
<p>1992</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●東京証券取引所市場第二部に株式上場</li> </ul>	<p>1992</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の就労継続支援を行う事業場として、社会福祉法人メイプル設立</li> </ul>	<p>1992</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の就労継続支援を行う事業場として、社会福祉法人メイプル設立</li> </ul>	<p>1992</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●サッシ表面処理工場が発生するアルミスラッジを利用したヘドロ汚泥の固化剤「アルサイト」開発</li> </ul>	<p>1992</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●東京証券取引所市場第二部に株式上場</li> </ul>	<p>1992</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自然風力換気窓ウインプレス開発(2009グッドデザイン賞)</li> </ul>	<p>1992</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「エコアマド」発売(2002グッドデザイン賞)</li> </ul>  <p>エコアマド</p>
<p>1990</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●経営理念「窓から夢をひろげていきます」制定</li> </ul>	<p>1990</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の就労継続支援を行う事業場として、社会福祉法人メイプル設立</li> </ul>	<p>1990</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の就労継続支援を行う事業場として、社会福祉法人メイプル設立</li> </ul>	<p>1990</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●サッシ表面処理工場が発生するアルミスラッジを利用したヘドロ汚泥の固化剤「アルサイト」開発</li> </ul>	<p>1990</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●経営理念「窓から夢をひろげていきます」制定</li> </ul>	<p>1990</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自然風力換気窓ウインプレス開発(2009グッドデザイン賞)</li> </ul>	<p>1990</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「エコアマド」発売(2002グッドデザイン賞)</li> </ul>  <p>エコアマド</p>
<p>1981</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●不二サッシ工業(株)、不二サッシ販売(株)、不二サッシ(株)(旧 東洋ハウジング(株)) 3社合併により、不二サッシ(株)として新発足</li> </ul>	<p>1981</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の就労継続支援を行う事業場として、社会福祉法人メイプル設立</li> </ul>	<p>1981</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の就労継続支援を行う事業場として、社会福祉法人メイプル設立</li> </ul>	<p>1981</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●サッシ表面処理工場が発生するアルミスラッジを利用したヘドロ汚泥の固化剤「アルサイト」開発</li> </ul>	<p>1981</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●不二サッシ工業(株)、不二サッシ販売(株)、不二サッシ(株)(旧 東洋ハウジング(株)) 3社合併により、不二サッシ(株)として新発足</li> </ul>	<p>1981</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自然風力換気窓ウインプレス開発(2009グッドデザイン賞)</li> </ul>	<p>1981</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「エコアマド」発売(2002グッドデザイン賞)</li> </ul>  <p>エコアマド</p>
<p>1969</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●東洋ハウジング(株)設立(不二サッシ(株)の旧社名)</li> <li>●九州不二サッシ(株)設立</li> </ul>	<p>1969</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の就労継続支援を行う事業場として、社会福祉法人メイプル設立</li> </ul>	<p>1969</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の就労継続支援を行う事業場として、社会福祉法人メイプル設立</li> </ul>	<p>1969</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●サッシ表面処理工場が発生するアルミスラッジを利用したヘドロ汚泥の固化剤「アルサイト」開発</li> </ul>	<p>1969</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●東洋ハウジング(株)設立(不二サッシ(株)の旧社名)</li> <li>●九州不二サッシ(株)設立</li> </ul>	<p>1969</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自然風力換気窓ウインプレス開発(2009グッドデザイン賞)</li> </ul>	<p>1969</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「エコアマド」発売(2002グッドデザイン賞)</li> </ul>  <p>エコアマド</p>
<p>1966</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●不二倉業(株)設立</li> </ul>	<p>1966</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の就労継続支援を行う事業場として、社会福祉法人メイプル設立</li> </ul>	<p>1966</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の就労継続支援を行う事業場として、社会福祉法人メイプル設立</li> </ul>	<p>1966</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●サッシ表面処理工場が発生するアルミスラッジを利用したヘドロ汚泥の固化剤「アルサイト」開発</li> </ul>	<p>1966</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●不二倉業(株)設立</li> </ul>	<p>1966</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自然風力換気窓ウインプレス開発(2009グッドデザイン賞)</li> </ul>	<p>1966</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「エコアマド」発売(2002グッドデザイン賞)</li> </ul>  <p>エコアマド</p>
<p>1958</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本で初めてビル用アルミサッシの製造・販売を開始</li> </ul>	<p>1958</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の就労継続支援を行う事業場として、社会福祉法人メイプル設立</li> </ul>	<p>1958</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の就労継続支援を行う事業場として、社会福祉法人メイプル設立</li> </ul>	<p>1958</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●サッシ表面処理工場が発生するアルミスラッジを利用したヘドロ汚泥の固化剤「アルサイト」開発</li> </ul>	<p>1958</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本で初めてビル用アルミサッシの製造・販売を開始</li> </ul>	<p>1958</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自然風力換気窓ウインプレス開発(2009グッドデザイン賞)</li> </ul>	<p>1958</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「エコアマド」発売(2002グッドデザイン賞)</li> </ul>  <p>エコアマド</p>
<p>1957</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●米国フェントロン社と技術提携しアルミサッシの技術を導入</li> </ul>	<p>1957</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の就労継続支援を行う事業場として、社会福祉法人メイプル設立</li> </ul>	<p>1957</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の就労継続支援を行う事業場として、社会福祉法人メイプル設立</li> </ul>	<p>1957</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●サッシ表面処理工場が発生するアルミスラッジを利用したヘドロ汚泥の固化剤「アルサイト」開発</li> </ul>	<p>1957</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●米国フェントロン社と技術提携しアルミサッシの技術を導入</li> </ul>	<p>1957</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自然風力換気窓ウインプレス開発(2009グッドデザイン賞)</li> </ul>	<p>1957</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「エコアマド」発売(2002グッドデザイン賞)</li> </ul>  <p>エコアマド</p>
<p>1930</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●鋼製建具の製造を目的に(株)不二サッシ製作所設立(旧 不二サッシ工業(株))</li> </ul>	<p>1930</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の就労継続支援を行う事業場として、社会福祉法人メイプル設立</li> </ul>	<p>1930</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者の就労継続支援を行う事業場として、社会福祉法人メイプル設立</li> </ul>	<p>1930</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●サッシ表面処理工場が発生するアルミスラッジを利用したヘドロ汚泥の固化剤「アルサイト」開発</li> </ul>	<p>1930</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●鋼製建具の製造を目的に(株)不二サッシ製作所設立(旧 不二サッシ工業(株))</li> </ul>	<p>1930</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自然風力換気窓ウインプレス開発(2009グッドデザイン賞)</li> </ul>	<p>1930</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「エコアマド」発売(2002グッドデザイン賞)</li> </ul>  <p>エコアマド</p>

## 不二サッシグループの製品・サービス

私たちは「ものづくり」という原点を大切にしながら、様々なソリューションを提供するメーカーかつエンジニアリング企業としてのアプローチで、多様な分野において、革新的なチャレンジに取り組んでいます。また、SDGsへの対応を「経営理念」実現の課題の一つとして、すべての事業活動において、環境・社会課題の解決や安心安全な商品づくりに取り組んでいます。不二サッシブランドが約束する高い品質、ゆるぎない実績、新たな価値の創出によって、お客様の信頼に応え続け、より豊かで持続可能な社会の実現に貢献したいと私たちは考えています。

### 建材事業



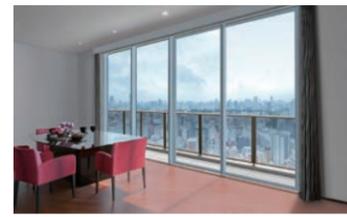
#### ビル建材事業

専門メーカーとして長年培った高度なテクノロジーとノウハウを駆使し、高い性能や品質と多様なデザインの要求に応えるビル用サッシ・カーテンウォールをご提案します。



#### 次世代型ハイグレードサッシ [FNS-II 70]

高層マンションで求められる、より高い耐風圧性能、水密性能をクリアし、さらに断熱性能、遮音性能を発揮するハイスペックな商品です。



#### アルミ樹脂複合サッシ [FNS-II 100R]

アルミと樹脂を組み合わせることで高強度・高断熱と居住性を共存させ、低炭素社会実現に向けた集合住宅向けのZEH-M(ゼッチ・マンション)の普及に貢献する次世代のサッシです。



特定得意先高断熱サッシ

#### 住宅建材事業

住宅建材商品は省エネや高齢化社会に備えたバリアフリー化など、快適性を高めるための多様な機能が求められています。リフォーム市場も視野に入れた「エコアマト」や「エコ面格子」といったエコシリーズ商品の充実を図り、お客様のニーズに応えています。



#### ウインドウリフォームシリーズ

角度自在のルーバーがプライバシーを守りながら室内にこもった空気をしっかりと換気。「玄関ドア用ルーバー網戸」を設置した玄関から、「エコアマト」や「エコ面格子」などを設置したリビング・キッチンなどへ、住まいに風の通り道をつくりだします。

### ユニットハウス・防災関連事業

多目的な展開が図れるユニットハウスや防災備蓄倉庫、高性能機器収納箱(シェルター)まで、多様な用途にお応えするパッケージ商品を多彩なラインナップで揃えています。



ユニットハウス



#### 防災備蓄倉庫(フジストック)

ソーラーシステムユニットを備え、備蓄品の長期保存だけでなく、災害時の拠点としての活用も可能です。



太陽電池(ソーラーパネル)

### フロントサッシ事業

オフィス、マンションのエントランスから店舗、ショールームなどの大開口部のファサードまで、お客様のニーズに最大限お応えする豊富なフロント商品を取り揃えています。



#### Fフロント防水タイプ

自動ドア部にポリ塩化ビニル製の止水シートを標準装備。止水シートが水圧でサッシ・ガラスに密着し、土の約10倍の止水性能を発揮します。

### 光建材事業

独自設計のLEDモジュールを使った商品の開発を進めています。アルミ素材とLEDの融合により様々な商品の可能性を広げていきます。



アルビームカーテンウォール



アルビームインテリア

### リニューアル事業

ストック化が進むマンションやオフィスビルを中心とした様々な建築物にリノベーション工事を施すことにより、快適な居住空間の提供や資産価値の向上をお手伝いします。



### 海外事業

フィリピン、ベトナム、台湾など東南アジアを中心に不二サッシブランド商品の展開や現地企業とのアライアンスを積極的に推進しています。



不二サッシフィリピン社

#### TOPICS

### 2022年度グッドデザイン賞を「細見付自動ドア フェイシングフロント CF9」が受賞しました

上框をエンジンボックス内に収納することにより軽快なイメージを演出し、たて框見付寸法を業界初の9ミリとした細見付の自動ドアを開発しました。ガラス面を大きくし透過を最大限に引き出し、自動ドアの存在を限りなくなくすることで、建物内からは背景に溶け込み、外観からは建物との一体感を表現します。

#### グッドデザイン賞審査員評価

幅が9ミリのたて框はこれまで大型の施設ではステンレスの製品しかなかったが、アルミの押し出し成型の実現により意匠性とコストダウン、取り付けの簡略化などに成功している点を高く評価した。ガラスのフィックス部分などをユニット化し、ステンレス材では現場で取り付けていたガラスの施工をなくすことで工期短縮とコストダウンに成功している。他にも上框とエンジンボックスを一体化させることで、建築ノイズも大幅に減少させている点など、製品単体のデザインだけではなく、建築や環境に対して配慮されたデザインであることを評価した。



#### TOPICS

### 2022年度グッドデザイン賞を「アルビームプラスLED照明内蔵笠木」が受賞しました

サッシやカーテンウォールにLED照明を内蔵し、光の意匠を加えた「アルビームシリーズ」のサッシ外商品シリーズとして、ピニフレーム工業(株)、(株)遠藤照明の協力を得て「アルビームプラスLED照明内蔵笠木」を開発しました。笠木に専用パーツでライン照明を下向きに内蔵することで、眩しさを感じさせず効果的に外壁を照らします。従来の笠木の機能はそのままに、建築物を光で縁取り、アイキャッチとしての役割を持たせることで、LED内蔵笠木は夜間景観に新たな彩りを添えてくれます。



#### グッドデザイン賞審査員評価

建築物の外装と照明を計画する場合、笠木と照明の細部の納まりを考え、施工もそれぞれ職人によるものだが、そこを一体化したメリットは大きい。この製品は笠木と光で建物の美化を高めている点を評価した。製品精度も高く、配光への配慮が美しい外観をつくり出す製品となっている。無理なく無駄なく建築物の美観へ貢献しており、建築現場で労力の削減に対する貢献度も高い。



## 一般社団法人住宅開口部グリーン化推進協議会への参画について

国の重要施策である2050年カーボンニュートラル実現に向けては、家庭部門での削減目標が最も高く設定されており、2030年には2013年度比で66%削減とされています。中でも住宅<sup>(注1)</sup>分野においては、日本の既存住宅の大半が現行の省エネ基準を満たしておらず、住宅における低炭素化は喫緊の課題とされています。しかしながら、既存住宅の窓の多くには単板ガラスが装着されており、開口部交換<sup>(注2)</sup>などの窓改修における削減効果は非常に大きいと考えられます。既存住宅における窓改修を推進するために、一般社団法人住宅開口部グリーン化推進協議会が発足され、不二サッシも設立時から参画しています。本協議会は、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、喫緊の課題となる住宅分野の低炭素化、特に開口部の省エネルギー等々のグリーン化に資する効果的な対策を進めるために、住宅グリーン化に関して、開口部を中心に調査・研究・

政策提言、政策実現のための活動を推進しています。2023年度には、3省(国土交通省・経済産業省・環境省)の連携による大型補助金(先進的リノベ1000億円・こどもエコすまいる1500億円)も始まっています。

室内

あたたかい空気を逃がしにくい



注1:住宅=戸建て・マンション含む 注2:開口部交換=内窓設置・外窓交換カバー工法・ガラス交換など

## 10層鉄骨造オフィス試験体による建物の動的特性評価実験に参画

### 「アルミカーテンウォール内蔵型センサー・アラートシステム」の研究・開発

近い将来、南海トラフ巨大地震や首都圏直下型地震が発生するといわれている中で、地震後も人々の生活を維持し、社会の経済活動が継続されるためには、災害による被害を最小限に抑えることや、地震後の速やかな復旧、復興が行えるように対策しておく必要があります。

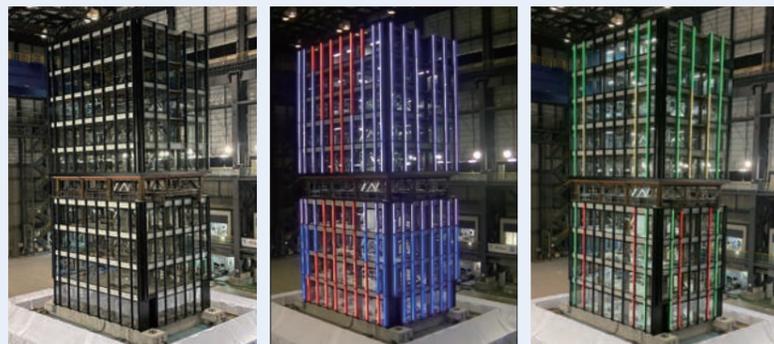
不二サッシ技術本部では国立研究開発法人防災科学研究所が取り組む「地震対応力向上のためのダメージ評価手法の研究開発」として、2017年より国立大学法人東海国立大学機構(名古屋大学)、文化シヤッター(株)とともに産官学連携のもと、非構造材(カーテンウォール)を含む地震被災度総合評価のための建物診断モニタリングシステム「アルミカーテンウォール内蔵型センサー・アラートシステム(以下、光センサーアラートシステム)」の研究・開発を進めてきました。

光センサーアラートシステムとは、カーテンウォールの層間変位追従性が建物の変形度合いと相関関係にあることから、アルミカーテンウォールにセンサーを内蔵することで、地震時のアルミカーテンウォールの層間変形角を計測し、動的特性を評価するアルゴリズムの技術により建物の被災状況を推定するとともに、推定したデータは即時に光センサーアラートシステムに送信し、発光表示し可視化します。

2022年度は、防災科学研究所の実大三次元振動破壊実験施設(E-ディフェンス)を使用し、2023年2月15日~24日の期間で10層鉄骨造のオフィスビルを再現した試験体を製作し、実物建物による動的特性評価の実証実験を行いました。

実験では、高さ26.9mの10層鉄骨構造体のほぼ全面にアルミカーテンウォールを設置した中規模建物(10層鉄骨造オフィスビル)を再現しており、当社は、カーテンウォールのエンジニアリングメーカーとして、カーテンウォールにLEDを組み込んだ光建材商品を利用した光センサーアラートシステムの設計・製作・施工を担当しました。アルミカーテンウォールは当社の標準カーテンウォール「SR-GARELIA」,「ComfortN」とオーダー型ユニットカーテンウォールを選定し、地震応答を取得するセンサーをカーテンウォール方立の屋内側に、光センサーアラートシステムは方立の屋外側に取り付けました。なお、光センサーアラートシステムの発光部は当社商品の「アルビーム」を採用しました。地震時に警告表示する光センサーアラートシステムは「安全」、「注意」、「危険」を表す「緑」、「黄」、「赤」の色調で点灯し、平常時は建築照明として様々な色調の変化や映像演出により活用できるシステムとなっています。

今回の実験では、震度3、4の中小規模の地震から阪神・淡路大震災を再現した震度7クラスの巨大地震まで様々な条件で、光センサーアラートシステムが正常に作動するかどうかを検証しました。また、ガラスを含むカーテンウォール本体の安全性も確認しました。このシステムは、地震後の速やかな建物の被災状況と継続利用の可否を、昼夜を問わず判断することに役立てられます。今後は、今回の実験で得られたデータをさらに詳細に解析し、早期の社会実装に向けた商品化を目指していきます。

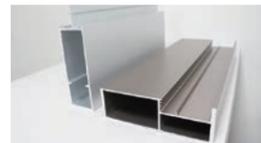


写真(左):10層鉄骨造オフィス試験体  
写真(中):LED照明(平常時)  
写真(右):LED照明(地震時)

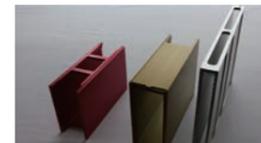
## 型材外販事業

### アルミ型材・アルミ加工品事業

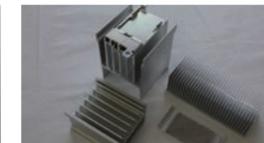
一貫生産システムで、建材から仮設機材、半導体製造装置、自動車関連、家電製品、事務機、日用品の部品まで、軽金属のサプライヤーとして多様な商品を提供しています。



**アルミ型材**  
様々なご要望を正確にカタチにした断面形状の押出型材。



**マガジン**  
LEDやパワーデバイス等の半導体を製造する際に使用する治具。



**ヒートシンク**  
アルミの高い熱伝導性を生かした、電気製品などに用いる冷却パーツ。



**ソーラー架台**  
JIS C 8955の基準に沿った設計で、要求される強度を満たしつつ、軽量化・施工性を考慮した形状になっています。



**クロススクリーン**  
用途は医療用を主としていますが、災害時等、様々な用途で使用できるマルチタイプです。



**仮設機材**  
足場板・梯子・脚立・建築現場用台車など、ロットが大きいものや大型材へも対応。

### マグネシウム合金事業

実用金属中で最も軽量のマグネシウム合金の押出加工技術の研究と開発、製品化に取り組んでいます。高強度・高耐熱マグネシウム合金はあらゆる分野での事業展開が期待されており、不二ライトメタルでは、汎用マグネシウム合金、純マグネシウム、KUMAD AI耐熱マグネシウム合金、難燃性マグネシウム合金、生体吸収性マグネシウム合金等、多様な合金を取り扱っています。



**汎用マグネシウム合金**  
スマートフォン・タブレット端末・ノートパソコンの筐体などに使用。

## 環境事業

### 都市ごみ焼却飛灰処理事業

長年の経験で培ったノウハウに基づいて、飛灰処理システムの設計・施工に加え、設備機器のコーディネート等エンジニアリング全般を引き受けています。また、飛灰処理過程でのダイオキシン類の分解や飛灰固化については、独自の技術に基づく装置の開発を行い、有害重金属の溶出を防止する各種薬剤とともに製造・販売を行っています。



ダイオキシン類低温加熱分解装置



混練機

### リサイクル・粗大ごみ処理事業

粗大ごみや不燃ごみ、ペットボトル、廃プラスチック等それぞれのごみに合わせた処理システムの設計・施工およびエンジニアリング全般を引き受けています。



二軸破砕機

### 薬剤事業

有害物を含んだ都市ごみ飛灰や焼却灰・溶融飛灰中の重金属処理用として液体系・粉体系の各種処理剤、および排ガス中のHCl除去剤に加え、下水汚泥用・軟弱地盤用固化材の製造販売や、バイオマスを有効利用した土壌用粉塵防止剤を販売しています。



粉塵防止剤 フラインットR(植物原料)

## 安心・安全な設備・機器の性能維持に向けて

不二サッシ環境事業部でエンジニアリングしている設備や製品は、全国のごみ処理施設の約半数の施設で稼働しています。この設備や製品は、皆様の日常生活で排出されるごみの資源化やごみ焼却後に発生する有害物質を含んだ飛灰を安全に埋め立てするための、無害化に役立っています。なお、これら設備や製品を長期間にわたり機械の性能を維持するため、また安全で効率的な資源化・無害化処理を

継続するために、機器のメンテナンスを最重要事業の一つとして位置付けし、注力しています。

生活のライフラインにも相当するごみ処理施設の稼働を停止させないためにも、納入した設備のトラブル発生時には、最速・最善の対応を心掛け実施しています。

## 物流事業

### トラック・トレーラー輸送

迅速・確実・丁寧をモットーに、大型車両や特殊車両による長距離輸送をはじめ、中・小型車両によるDoor to Door輸送など、あらゆる輸送に対応しています。



### 国際物流(輸出・輸入業務)

海外から国内指定納品先までのDoor to Doorのサービスや、日本各地の主要港・空港における輸出入貨物の取扱業務を行っています。



### 倉庫・保管・流通加工

全国の拠点や倉庫を活用し、一時保管、製品管理、検品、組立、ラベリング、仕分け、梱包など、熟練スタッフによる高品質のサービスを提供しています。



### オフィス移転・引越し

店舗やオフィスの移転、転動による引越し、家財の一時保管も承っています。

### 大型設備・重量物の運搬・設置・解体

国内外でのプラントの設備および装置の移設に伴う解体・輸送・設置サービスを行っています。

# アルミサッシの製造に関わるバリューチェーン

不二サッシグループは、開発からリサイクルに至り循環する事業プロセスを念頭に、それぞれ重点課題を掲げ、具体的な施策として取り組むことで、プロセス全体の付加価値向上を図っています。またあらゆるプロセスで、気候変動をはじめとする環境や社会との双方向かつ将来的な影響にも配慮し、バリューチェーン・マネジメントをさらに強化することで、社会からの期待と要請に応えます。

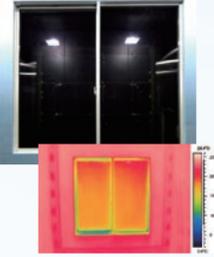
## 開発

**リスク・機会**

- 商品開発:省エネ・創エネ商品、防災製品
- 製造技術開発:温室効果ガス排出を抑制する製造技術

**強みや施策**

日本のエネルギー消費量の約3割を占める建築物分野における脱炭素化に寄与すべく、断熱、遮熱、通風、換気商品の充実化を図るとともに、従来の「あける・しめる」といった機能に加えて「お客様の健康に配慮し、安心して生活できる空間を提供する」商品の開発へと転換しています。



## リサイクル

サーキュラーエコノミーおよびCO<sub>2</sub>排出量削減に貢献するため、製品原材料のアルミリサイクル率向上を推進しています。グループ内のリサイクル材で足りない分は、外部調達量を増やすことで補っています。また、原材料中のアルミリサイクル率を上げて品質や生産性を維持すべく、製造技術開発や工程管理に取り組んでいます。

**「調達」「製造」におけるリスク・機会**

- 社会的なリサイクルのニーズ上昇に伴う調達競争の激化や調達費の増加
- アルミリサイクル率向上に向けた供給網や工程の変更
- 脱炭素社会への移行に伴うリサイクル材のコストメリット向上

## メンテナンス

**リスク・機会**

- 廃棄物抑制のための製品長寿命化に伴うニーズ変化への対応
- 異常気象等で被災した建物の復旧工事や廃材利用

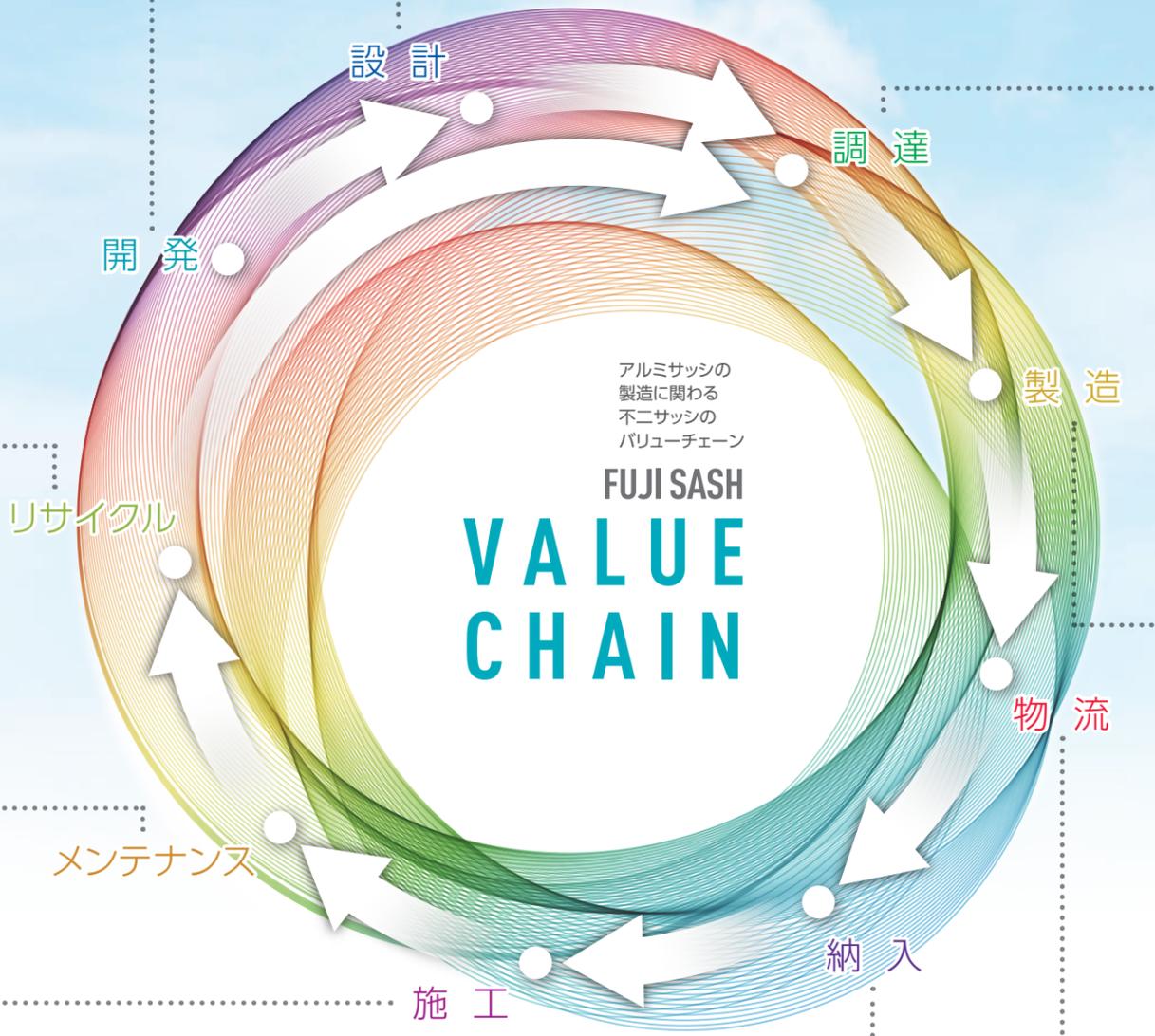
## 施工

**リスク・機会**

- 高齢化と若年層の不足による人手不足への対応
- 平均気温上昇に伴う作業環境や体調悪化への対応

**具体的な取り組み**

緊密な連携と高い専門知識に基づく施工作业は、建物の機能性や外観の品質に直結します。不二サッシと取付工事協力業者により「不二サッシ工事共済会」を組織し、安全管理、施工品質や取付製品の質の向上を目指して意見を出し合い、情報共有やルール作成、各会員業者への周知などを行っています。

## 納入

**リスク・機会**

- 異常気象等による生産や物流への被害が及ぼす影響

## 設計

**リスク・機会**

- 脱炭素社会への移行に伴う商品需要への対応
- 異常気象等に備える防災ニーズへの対応

**強みや施策**

PCディスプレイの2画面化、電子化書面データの交換推進やBIMの活用により、業務遂行における紙の使用量を削減し森林の保護につなげます。また、特殊形状の製品製作図作成において、3次元データでの作図・検討を実施することにより、再製作となる部材を削減し省資源化に努めています。



3次元CADによる特殊形状製品の作図

## 調達

**リスク・機会**

- 材料の低炭素化やリサイクル率向上に伴う調達・購買コスト
- 異常気象等によるサプライチェーン障害への対応

**強みや施策**

形材生産までの調達では3項目を重点施策としています。

- ①購買スクラップ調達先・量の拡大、アルミ再生地金の調達によるアルミリサイクル促進
- ②低炭素なグリーンアルミ地金・グリーンピレットの調達
- ③再生原料緩衝材の調達

鋳造～形材加工工程に関しては、購買スクラップ調達先・量の拡大や再生地金調達によるアルミリサイクル促進、低炭素なグリーンアルミ地金・ピレットの調達、再生原料緩衝材の調達に注力しています。次に、サッシ加工・組立工程に関しては、サプライヤーの環境活動調査、樹脂部品の材質判印や、拠点別購入から集中購買化への切り替えなどを推進しています。特に集中購買した部品の在庫・欠品・不具合については、削減目標および施策を設定し取り組んでいます。



## 製造

**リスク・機会**

- 燃料・エネルギーの脱炭素化を進める法規制等による製造コスト
- 異常気象等による工場の設備損壊や生産停止
- 平均気温上昇に伴う作業環境悪化や人手不足への対応

**強みや施策**

鋳造～形材加工工程に関して、工場内で発生するアルミスクラップは全量リサイクル対応しています。また、工程間の自動搬送化によるCO<sub>2</sub>削減や、表面処理(電解)の自動搬送・自動着色による省人化対応を進めています。次に、サッシ加工・組立工程に関しては、形材のまとめ発注や余端材管理による歩留向上で省エネを進めるとともに、効率的な生産計画によって過剰生産・破棄を減らしてCO<sub>2</sub>削減を図っています。また、QRコード付加工機の使用等によって作業を簡易化・短時間化し、気温上昇や人手不足などによる悪影響の低減に努めています。



## 物流

**リスク・機会**

- エネルギーの脱炭素化を進める法規制等に伴う輸送コスト増加、輸送方法の変更(人手不足への対応含む)

**強みや施策**

物流を担う関連会社の主動で、車両の燃費管理、ハイブリッド化や省エネ仕様化によるCO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んでいます。また、鉄道、船舶を利用したモーダルシフトも推進中です。物流業界の「2024年問題」に対応すべく、自社乗務員の運行管理の徹底に加え、協力会社との連携にも努めています。

# サステナビリティマネジメント(マテリアリティー一覧)

不二サッシグループは経営理念「窓から夢をひろげていきます」の考えのもとに、100年企業に向けてすべてのステークホルダーの皆様から「選ばれる企業グループ」として存在感を発揮するために、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に取り組んでいます。

## SDGsへの貢献

近年、持続可能な社会の実現のために政府・企業・関係者のすべてが自主的に取り組む国際目標SDGsの広がりによって、環境と社会を重視する経営への動きが加速しています。  
このSDGsを経営戦略の重要事項と捉えて社会情勢や事業環境を踏まえ、環境(Environment)・社会(Social)・ガバナンス(Governance)の観点で、不二サッシグループのマテリアリティー(重要課題)を特定しています。  
マテリアリティーの優先順位と具体的目標の設定を進め、それらを踏まえた経営戦略に基づく事業活動の推進によって社会課題解決と価値創造を目指していきます。

マテリアリティー		活動項目および目標	2022年度実績	対応するSDGs	掲載ページ	
環境	脱炭素に向けた取り組み (気候変動への対応)	消費エネルギーおよびサプライチェーンCO <sub>2</sub> 排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>●断熱・省エネ関連商品開発(CO<sub>2</sub>削減商品の開発の推進)</li> <li>●生産量(押出+電解)当たりの電力消費量およびCO<sub>2</sub>排出量原単位を前年度比1.0%改善する(環境マネジメントシステム導入4サイト)</li> <li>●SBTの設定および認定取得</li> <li>●再生素材(アルミリサイクル材)の積極的利用</li> <li>●各職場での節電の励行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●断熱商品 FNS-II 70D/FNS-II 70/FP-AT70/FNS-II 70CF/RE-III改裝サッシ/FNS-II 100R/FNS-II 100CF/フェイスングフロント防火設備/インナー防火スクリーン</li> <li>●省エネ商品 アルビームカーテンウォール/アルビームインテリア</li> <li>●電力消費量原単位：前年度比5.2%削減(生産拠点13サイト 1.4%増加)</li> <li>●CO<sub>2</sub>排出量原単位：前年度比2.1%削減(生産拠点13サイト 5.3%削減) ※ 電力使用量：前年度比3.0%削減(生産拠点13サイト 7.7%削減)</li> <li>●グループ全体のScope1,2,3算定中 ※Scope1+2=67,475t(前年度比14.3%削減)</li> <li>●SBTへの目標提出準備中 ●アルミリサイクル材活用：スクラップ対応鋳造炉への更新</li> </ul>		13-16, 18,30
		再生可能エネルギーの創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>●メガソーラーシステムの運用による安定的な再生可能エネルギーの創出(通期発電計画の達成)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●3基のメガソーラーシステムを運用(千葉事業所第一発電所、第二発電所、関西不二サッシ発電所) CO<sub>2</sub>排出削減貢献量：1,373t(3基合計発電量：3,802MWh)</li> </ul>		13,30
		環境エンジニアリング事業による貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>●飛灰処理プラント、リサイクル・粗大ごみ処理プラントの設計・製造・販売</li> <li>●廃棄物の重金属固定剤、「環境型」土壌防塵防止剤の製造販売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●納入機器のメンテナンス推進</li> <li>●キレート剤(重金属の溶出防止剤)の販売 ●フライネットR(植物原料・生分解性の粉塵防止剤)の販売</li> </ul>		13,17
	循環型社会の形成	資源の有効活用およびゼロエミッションの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●廃棄物排出量の削減 ●廃棄物のリサイクル率97.0%以上</li> <li>●新設備・技術導入による省資源活動</li> <li>●地下水膜ろ過システムの導入による上水使用量の低減および地域貢献活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●産業廃棄物排出量：グループ全体 15,693t(生産拠点13サイト 13,481t)</li> <li>●リサイクル率：グループ全体 82.7%(生産拠点13サイト 96.1%)</li> <li>●図面および仕様チェックによる、過剰設計の防止や運送効率への配慮</li> <li>●事業継続計画(BCP)の一環として地下水膜ろ過システムを運用</li> </ul>		19,30,31
		製品含有の化学物質削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>●PRTR法等に対応するSDSを確保 ●部品・部材の安全性の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●開発商品に使用する材料のSDSを確認し、指定化学物質の使用を回避</li> </ul>		30
サプライチェーンマネジメント	グリーン調達への推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グリーン調達に向けた部品・材質への切り替え</li> <li>●サプライチェーンの環境活動向上への取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サプライチェーンの環境活動調査 ●樹脂部品の材質刻印の推進</li> <li>●各生産拠点個別購買から集中購買比率向上の推進</li> </ul>		19,30	
	物流におけるサステナビリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全社での物流改革</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全社テーマとして「物流改革プロジェクト」を推進 ●押出ダイス移管による製品輸送距離短縮</li> <li>●「ホワイト物流」推進運動 自主行動宣言：運転者の労働環境改善の推進や、働き方改革に取り組む物流事業者の活用</li> </ul>		13,17, 19,31	
社会	人権の尊重および従業員満足度の向上	人権デューデリジェンスおよびダイバーシティ&インクルージョン	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ハラスメント対策 ●多様な働き方の支援 ●育児支援制度の活用推進</li> <li>●女性従業員の採用・育成・定着 ●グローバル人材の活躍推進</li> <li>●障がい者就労支援活動の推進 ●定年後再雇用の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●不二サッシグループ人権方針策定 ●ハラスメントの防止</li> <li>●育児休業利用者：10名(前年度比43%増) / 短時間勤務利用者：11名(前年度比8%減)</li> <li>●社内インターンシップによる能力開発・キャリア形成</li> <li>●女性活躍推進法に基づく「一般事業主行動計画」の実施 ●フィリピン・中国・カンボジアなど国際人材の登用</li> <li>●障がい者雇用率：2.64%(前年度比0.22%増) ●定年後再雇用者数：22名(前年度比1.3%増)</li> </ul>		12,13,22, 26-29
		人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●キャリア開発のための取り組み ●人材育成の強化・拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●通信教育による自己啓発促進 ●公的資格取得支援 ●社内研修制度</li> </ul>		28
		従業員の健康促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●従業員の健康のための取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●前立腺検査受診率：96% / 乳がん検診受診率：46% / 子宮がん検診受診率：29%(前年度比9%減) / 人間ドック補助利用者：本人40名、家族2名</li> <li>●新型コロナ対応：自社製の飛沫ガードの活用 / 密を避けるための座席配置変更 / 時差通勤の推進 / テレワーク(およびそれを利用した出勤シフト制)の推進</li> </ul>		28,29
	公正な事業慣行	サプライヤーの労働環境配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「ホワイト物流」推進運動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「ホワイト物流」推進運動 自主行動宣言：運転者の労働環境改善の推進や、働き方改革に取り組む物流事業者の活用</li> </ul>		13
	お客様サポート	製品品質・安全への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●製品安全行動指針に基づくCS活動推進</li> <li>●製品事故・品質異常の対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●HPに消費者への注意喚起を掲載(台風や暴風雨時の備えについて・新型コロナウイルス感染症対策におけるサッシ消毒に関するお願い等)</li> <li>●動画をを用いた取扱説明書</li> </ul>		24
コミュニティ参画および発展	持続可能な暮らしとまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リニューアル事業の拡大 ●都市防災・インフラBCP強化への貢献</li> <li>●健康・福祉の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●CW試験センターにおける産官学との共同研究や社外からの自然環境模擬試験等の受け入れ</li> <li>●「10層鉄骨造オフィス試験体による建物の動的特性評価実験」に参画(光センサーアラートシステムの設計・製作・施工)</li> <li>●新型コロナ対応：省エネや換気機能に優れたウインドウリフォームシリーズの拡販</li> <li>●先進的窓リノベ事業、こどもエコすまいる支援事業の対象製品を設定</li> </ul>		13,16	
	社会貢献活動・文化活動などの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業所周辺地域との連携による社会貢献活動 ●環境貢献活動への支援・参加</li> <li>●各種学校との連携による学生のスキルアップ</li> <li>●音楽・スポーツ・芸術などの活動の支援 ●被災地等の支援活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全国事業所における清掃・防災・献血活動など</li> <li>●千葉県による絶滅危惧種ヒメコマツの回復計画に系統保存サポーターとして協力(苗の育成・管理)</li> <li>●学生のインターンシップや見学の受け入れ</li> </ul>		25,29	
ガバナンス	企業統治	コーポレートガバナンスの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●取締役会の実効性評価 ●コンプライアンスの強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●取締役会の実効性評価の実施</li> <li>●ガバナンス強化施策(役員報酬の決定方針・社外役員との意見交換会等)</li> </ul>		22,23
	コンプライアンス	法規制や社会規範の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンプライアンス教育の充実</li> <li>●水質・大気・土壌・騒音・有害物質等の法規制・条例、その他規制の遵守状況の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境教育を含めた、法遵守のためのコンプライアンス教育の実施(理解度テスト実施・教育動画の公開等)</li> <li>●関係会社への法遵守環境監査実施 ●環境法令違反件数：0件</li> </ul>		23,33
	コミュニケーション	ステークホルダーとの協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ステークホルダーとの対話の推進</li> <li>●ステークホルダーとのコミュニケーション機会の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アルビーム通信の発行</li> <li>●日海不二サッシ本社に製品ショールームをオープン</li> <li>●「ビジネス創造フェアいしかわ2022」に出展</li> </ul>		25,34
	成長戦略・事業継続計画(BCP)	技術力・危機管理能力の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●技術力・施工力の強化 ●製品の安定供給 ●マグネシウム事業の推進</li> <li>●危機管理・対応能力の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電子タグを用いた建設部材の一元管理の実証(他社協働) ●電子情報セキュリティ教育</li> <li>●「一般社団法人住宅開口部グリーン化推進協議会」運営に参画</li> </ul>		13,16,17
	グループの成長・発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>●海外事業の再構築 ●国内外企業の株式取得、業務提携</li> <li>●製品・サービスの受賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アルビームプラスLED照明内蔵窓木 グッドデザイン賞受賞 ●「日本産業広告賞」入賞</li> <li>●細見付自動ドア フェイスングフロントCF9 グッドデザイン賞受賞</li> </ul>		14,15,34	

## サステナビリティの基本的な考え方

不二サッシグループは、中期経営計画において、『サステナブルな社会実現への貢献「選ばれる企業グループへ」』をメインメッセージとして掲げ、サステナビリティを経営上の最優先課題と認識しています。

### ガバナンス

気候変動対応などのサステナビリティをめぐる取り組みの指針としてマテリアリティを特定し、本レポート等において活動実績の報告を開示しています。取締役会は諸施策に関する監督を行っています。

今後に向けて、サステナビリティ全般に関する企業戦略の企画立案、推進、進捗管理および諸課題への対応を一元的に担う専門部署であるサステナビリティ推進室の設置を取締役に決めていきます(注:2023年5月発足)。また、サステナビリティ推進室は、取締役会および経営会議に定期的に活動状況を報告すること、取締役を中心とするサステナビリティ委員会の設置を検討することを予定しています。

### 戦略

建材品・アルミ型材の製造および販売を主な事業としていることから、環境分野において、脱炭素に向けた取り組み(気候変動への対応)、循環型社会の形成、サプライチェーンマネジメントをマテリアリティに設定しています。

特に、脱炭素推進に際し、2022年2月にSBT認定取得へ向けたコミットを行っており、現在、取得を目指し準備中です。脱炭素社会の構築のための具体的な取り組みとしては、断熱・省エネ関連の商品開発、アルミリサイクル材の積極的利用、太陽光発電による再生可能エネルギーの導入等を推進しています。

今後は、TCFD開示で用いられるシナリオ分析を実施し、リスクおよび機会の明確化・定量化を行う予定です。

また、社会分野におけるマテリアリティの取り組みの中で、人的資本への投資について、従業員一人ひとりの成長を支援する「働きがいのある会社」と、多様な人材の多様な働き方を支援する「働きやすい会社」を目指し、従業員が能力を発揮できる制度・環境の整備を行っています。

### リスク管理

マテリアリティの特定のプロセスにおいて、リスクおよび機会を十分に検討しており、特にリスクについては、その内容に応じた各所管管理部署が経営レベルへ定期的に報告しています。今後は、サステナビリティに関するリスク

を一元的に管理し、対応する委員会の設置等も考慮していきます。

### 指標および目標

#### ①脱炭素に向けた取り組み

2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを旨として、2030年に向けた温室効果ガス排出量の削減目標を策定し、SBT認定を取得すべく準備しています。

Scope1,2,3すべてにおいて目標を策定する予定であり、排出量実績値の精緻化および目標値の検討を進めています。

#### ②人的資本に関する取り組み

多様な人材の多様な働き方を支援するため、採用者に占める女性割合を30%以上、また専門職種に占める女性割合を30%以上とする目標を定めるとともに、従業員が能力を発揮できる制度・環境の整備を行い、女性活躍を推進しています。

## コーポレートガバナンス

### 基本的な考え方

グループ全体の企業価値の向上と強固な経営基盤の構築を通じて、お客様に信頼され、社会に貢献し続けるという経営基本方針を実現するため、責任ある経営体制の確立と、経営の透明性向上並びに経営に対する監視・監督機能の強化に努めることで、ガバナンスの強化を図っています。また、当社および関係会社新社長就任により事業改革を推進しています。

### 主な機関の概要

#### 取締役会

当社の取締役会は、経営の監督機能が適切に発揮されるよう、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値向上に資する資質を備えた構成としています。2022年度当初は取締役8名(うち独立社外取締役2名)、監査役3名の計11名で構成していましたが、社外取締役が逝去され退任したため、それ以降は、取締役7名(うち独立社外取締役1名)、監査役3名の10名で構成しておりました。独立社外取締役は1名となっていました。2023年6月29日の株主総会にて、新たに1名の社外取締役を選任し2名体制となりました。

取締役会は、原則として月1回の開催のほか決算承認

等、2022年度は年間18回開催し、当社および当社グループの重要な経営方針の決定、業務執行の監督、業務執行状況の報告等を行っています。

#### 監査役会

当社の監査役会は、現在、常勤監査役1名、社外監査役2名(うち独立役員1名)の計3名で構成しています。監査役会は、会社の内部統制システムや内部監査部門、会計監査人との緊密な連携を活用しつつ、監査役会が定めた監査方針に従って年度の監査計画に基づく監査を実施し、監査役会において、監査の実施状況や結果に関する情報の共有、意見の交換を行っています。また、2022年度は、不二ライトメタル本社(熊本県)の監査に、社外監査役2名も同行し実態調査を行いました。

### 役員報酬

#### 報酬等の決定に関する方針

取締役会において、取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針を決議しています。取締役および執行役員の報酬に関しては、独立社外取締役が参画する「役員人事・報酬協議会」において、個別役員の報酬額の案を協議のうえ策定し、取締役会において決定しています。

### 実効性評価

取締役会が有効に機能しているかを検証するため、2022年度において、各取締役による自己評価などを実施し、運営面の確保および審議の内容に関して分析しています。

その結果、各役員から「事業ポートフォリオの見直し、経営資源の配分等、中期経営計画のモニタリングを一番に優先すべき議論である」との指摘がありました。引き続き社内での議論に留まらず、社外役員の意見等を積極的に受け入れ、十分な議論を速度感を持って対応することが課題です。

取締役会は今後も経営戦略を決定・推進する機関として、中期経営計画およびコーポレートガバナンスコードの方針に基づき、業績回復に向けた議論をさらに深めていく必要があります。引き続き取締役会の監督機能を強化するとともに、企業の持続的な成長に資することによって、実効的な監督、ガバナンスの強化につなげていきます。

### 社外役員の意見

不二サッシグループの強靱な事業基盤の確立に向けて、経営会議、取締役会で、経営戦略、経営課題について、議論を深める必要があると考えます(ビル建材・フロントサッシ・住宅建材事業についての技術、生産、積算、設計、施工の一貫した強靱な事業基盤の構築)。

### 社内役員の意見

中期経営計画のモニタリングについては、直近の課題と中期的な課題の区分を行い中期的な課題への議論の割合を増やし、サステナビリティについては、対外的アプローチについて意見交換を増やす必要があると考えます。

### コンプライアンスの推進

#### コンプライアンスセミナー

2022年度は、新型コロナウイルスの感染状況に改善が見られたため、動画を対象にしたセミナーのほか、生産拠点の直接部門の方を中心に現地開催、およびWebライブセミナーを実施しました。

また、昨年と同様に、動画を利用したセミナーを開催しました。

#### 主な研修テーマ

全員受講	選択受講	担当部門
	「サステナブルな社会実現」に向けた不二サッシグループの取り組み	環境安全部
コンプライアンス概論	書類のペーパーレス化と電子帳簿保存法およびインボイス制度について	経理部
	不二サッシグループ人権方針について	コーポレートガバナンス部
	会社法について	
	個人情報保護法について	
	適切なSNS利用の心得	情報システム部

現地開催で380名、動画およびWebライブで2001名の役職員が受講しました。

今後もコンプライアンス浸透のため、動画や対面を織り交ぜたセミナーを推進していきます。

### ホットライン

不二サッシでは、法令違反や社内規定違反を相談する窓口として、内部通報制度である「企業倫理ホットライン」を設けています。社内報に「企業倫理ホットライン」の通報先を掲出するなど社内周知を行い、第三者機関の窓口を利用することで、通報者の保護と適正な処理を行い、問題の早期発見と解決を図っています。さらに、従業員100名以上の6拠点に相談窓口を新設し、窓口を増やすことで通報しやすい環境づくりに努めています。また、その運用・通報状況について取締役会で報告を行うとともに、グループ内のイントラネットで開示しています。

## 製品品質・安全への取り組み

### 不二サッシグループ 品質保証体制

#### 基本方針

コンプライアンス経営に基づいた安心、安全で地球環境に優しい商品づくりを通して、グループ全体で顧客満足に徹し、会社業績の貢献に向け邁進する。

### 不二サッシグループ 製品安全行動指針

不二サッシグループは、コンプライアンス経営の一環として、製品安全を経営上の責務と位置づけ、お客様に安心、安全な製品をお届けするために、グループ全体で製造・販売する製品の安全確保に努め、社会に貢献し、信頼される企業となるよう積極的に取り組んでいきます。

Web【トップ＞企業情報＞製品安全行動指針】



## 2022年度活動実績

### 品質管理活動報告

#### ISO9001・JIS取得状況

各生産拠点でISO9001およびJISマーク表示制度を取得するとともに、それに則った品質マネジメントシステムを構築し、グループ全体で品質活動の取り組みを強化し、品質レベルの維持向上を図っています。

取得工場一覧 ●:2015年度版への期限内移行完了

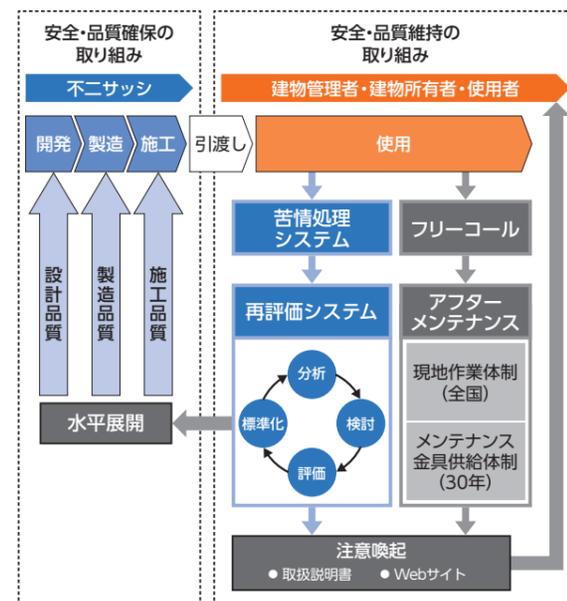
取得者／製造工場	ISO9001	JISマーク表示制度
不二サッシ(株) 千葉工場	●	○
不二サッシ(株) 技術本部	●	-
グループ会社		
北海道不二サッシ(株)	●	○
しらかか不二サッシ(株)	-	○
不二サッシリニューアル(株)	●	○
日海不二サッシ(株)	●	○
関西不二サッシ(株)	●	○
(株)不二サッシ九州	●	○
(株)沖繩不二サッシ	-	○
不二サッシフィリピン社	-	○
不二ライトメタル(株) 本社	●	○
不二ライトメタル(株) 東資材生産部	●	○

中央規格委員会(5月)、品質管理委員会(四半期)の開催を通じて、品質情報、改善情報を共有し、FSK規格などの品質基準策定につなげました。また、不二サッシ版品質管理マニュアルに基づく、グループ内の品質マネジメントシステム(QMS)を維持しています。

### CS推進活動報告

#### 苦情処理対応

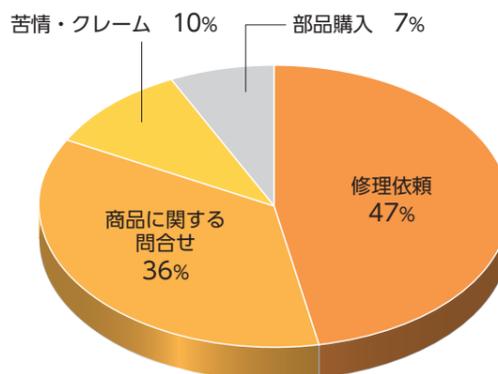
お客様からの苦情・クレームは担当拠点(支店、営業部門)が受け付け、調査、対策を協議し、対応します。苦情・クレーム対応の情報は、苦情処理システムで品質保証部が受け付け、改善が必要な事象については、「再評価システム」で分析、検討、標準化を行ない恒久対策を講じます。これらの情報や対策は、各部門の情報ツールを通じて水平展開し、再発防止につなげています。また、新商品を開発する際の確認項目として用いられています。



#### お客様相談窓口

お客様からのフリーコールによるメンテナンス部品の購入やメンテナンスの依頼などに対しては、お客様の在住エリアを認識し、直接、担当地域の窓口へ迅速につながる転送システムを採用し、お客様満足の向上につなげています。

#### 2022年度「お客様相談窓口」受付内容の内訳



## 不二サッシグループ各社の活動

### 学生の受け入れ

不二サッシグループではインターンシップや見学会など学生に向けた取り組みを行っています。

2022年度、しらかか不二サッシでは、近隣の2つの高校より依頼を受け、インターンシップおよび会社見学の受け入れと、学校内で開催された企業説明会への出展を実施し、延べ16名の生徒に参加していただきました。

沖繩不二サッシでは、地元中学生の工場見学を受け入れ、ミーリングやプレスなどの金属加工には多くの生徒が感心した様子でした。

また、不二サッシ技術本部では、千葉の試験研究施設を活用し、大学生のインターンシップを受け入れました。事業内容の説明、工場見学、安全教育の後、当社製品の開発過程にある試作品の性能試験や表面処理の研究開発など社員と一緒に実際の仕事を体験し、最終日には体験した内容について社員に向けてプレゼンテーションを行っていただきました。

今後も学校側と協力し、学生の進路選択の一助になるよう継続していきます。



しらかか不二サッシ インターンシップ

### 生徒の受け入れ 沖繩不二サッシ VOICE

工場を見学していただくにあたり、工場内安全対策を見直し、工場や作業を全く知らない彼らへの説明を通して新人に対する説明や伝え方を再考するなど、当社社員にも良い経験となりました。

### 学生の受け入れ 不二サッシ技術本部 VOICE

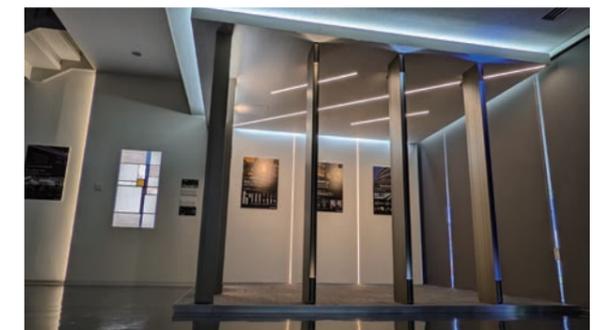
技術本部では2018年から継続して、近隣の大学を対象にインターンシップの受け入れを行っています。学生が徐々に業務に慣れ、学生から社会人の顔になってくると、我々も頑張ろうという気持ちになってきます。これからも継続していけるよう、時代に合ったカリキュラムに更新しながら、学生の方に選ばれる企業を目指していきます。

### 日海不二サッシ本社事務所にショールームをオープン

このたび、日海不二サッシ本社(石川県)事務所内にショールームをオープンしました。

多くの製品を展示できるよう配置を工夫したことで、従来製品に加え「アルビームインテリア」も全種類展示することができました。

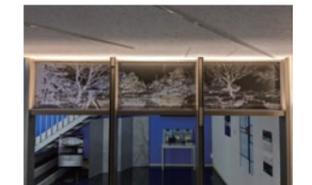
アルビームが発売されてから10年近くが経ち、ラインナップも多品目になる中で、北陸地区や県外から来社されるお客様に、製品の説明をする際に写真や動画だけでは限界がありましたが、今後は実物を見ていただき、受注につなげていきたいと思っています。



アルビーム商品群と光壁を展示



(欄間・屏風)パンチングパネル



(欄間)兼六園の加工を施したパンチングパネル

### 日海不二サッシが「ビジネス創造フェアいしかわ2022」に出展

5月19日から21日まで石川県産業展示館2号館で「ビジネス創造フェアいしかわ2022」が開催され、光建材アルビームの新製品、アルビームインテリア、兼六園の加工が施された「デザインパンチングパネル」、特販部の「建機キャビンサッシ」などを展示し、多くの来場者に見ていただきました。



日海不二サッシブース



左から：英チーム長・中島本部長・角部長・中山副部長(当時)

TOPICS

TOPICS 01

技能実習生が現場で活躍

2022年7月に入社したカンボジア技能実習生10名は、現在工事共済会東京支部会員の協力による指導のもと、現場に入場しサッシ・カーテンウォールの取り付け作業に励んでいます。入社後経験を積み現場の雰囲気にも慣れてきて、職長からも良い評価を得ています。2名1組、5組でそれぞれ違う住まいと仕事場ですが、週末にはよく集まって談笑しているようです。3月には技能実習を2年、3年と継続するための技能検定(基礎級)を受験し、全員が合格することができました。また、外部講師による日本語教育(月1回の集合研修と週1回のオンラインレッスン)を行っており、コミュニケーション能力の向上を目指しています。2023年7月にはさらに10名の技能実習生を受け入れ、一期生同様の活躍を期待しています。



TOPICS 02

しが障害者施設応援企業

社会福祉法人メイプルは、障がい者の就労継続支援を行う事業場として1995年、滋賀県に誕生しました。設立当初から不二サッシの技術指導を受け、面格子、ガラリといった建材製品を製造しています。現在、8名の障がいのある方々が不二サッシの社員としてメイプルの従業員と一緒に勤務しています。このたび滋賀県より、障がい者の就労機会拡充への貢献をたたえ不二サッシに感謝状が贈られました。これからも、不二サッシは、メイプルとともに労働力の多様性向上に取り組んでいきます。

TOPICS 03

育児休業を取得してみた

VOICE 不二サッシ環境事業部 飯田 匠

私は双子の育児を妻と協力して行うために育児休業を取得しました。育児休業を取得してからは、家族のために全力で尽くすことができました。双子の出産に伴う忙しい日々ではありませんでしたが、長女の面倒を見ることもでき、育児にも集中できました。育児休業を取得する前には、妻の切迫早産による入院があり、私一人で長女の世話をすることになりました。その際にも会社の人々がスケジュールの調整などを手伝ってくれたおかげで、問題なく仕事ができて、心配なく休業に入ることができました。育児休業を取得することで、家族の絆を深める貴重な時間を過ごすことができました。会社の上司や同僚の理解と協力があつたことは大きな支えとなりました。育児休業の取得は、私にとって家族の幸福と子どもたちの成長に貢献する重要な決断であり、その結果として良い経験を得ることができました。今後も家族と仕事を両立させながら、より良い未来を築いていきたいと思っています。



VOICE 不二ライトメタル製品製造部 アルミ加工品G 平野 亮次

次女が生まれたことにより、妻の育児や家事の負担を軽減するためや、子どもの成長を間近で見るために、今回育児休業を取得することにしました。長女のときには、妻から成長の様子を話に聞くだけでしたが、休業を取ったことにより、次女の日々の成長を目の当たりにすることができました。また、長女についても保育園の送り迎えを通して、園で過ごしている様子を知ることができ、保育園との関わりも増えたように感じました。育児休業終了後も、育児や家事に積極的に参加するようになりました。育児休業を取得するにあたり、上長へは前もって報告していたとはいえ、自分が抜ける穴をどうするのかがなかなか決まらず不安に思うこともありましたが、職場の人々の協力のおかげで休業を取ることができ感謝しています。休業を取ることにより会社に迷惑をかけると思うこともありましたが、家族、特に子どもが小さいときに一緒に過ごす時間はとても大切なものとなり、育児休業を取ってよかったと思います。

人権の尊重

不二サッシグループ人権方針

人権に関する国内外の法令化やガイドライン公表などの動きを踏まえ、2022年10月、不二サッシグループの人権方針を策定いたしました。

基本方針

不二サッシグループは、「経営理念」に基づき、人権の尊重をサステナブルな社会実現への課題の一つとして、すべての事業活動において、ひとり一人が、「あらゆるステークホルダーの人権が尊重されることが不可欠であること」を認識して行動し、「人権尊重の責任」を果たします。

🔍 トップメッセージ(P6)に全文記載

女性活躍の推進

女性活躍推進法「一般事業主行動計画」策定

女性従業員の個性と能力を十分に発揮できる環境整備を行うため、行動計画を策定し、取り組んでいます。

1. 計画期間  
2021年(令和3年)4月1日から2026年(令和8年)3月31日
2. 当社の課題  
(1) 女性の採用数が少ない(特に専門職種)。  
(2) 正社員と同等の業務を担っている非正社員の雇用環境改善が進んでいない。
3. 計画内容  
目標1：採用者に占める女性割合を30%以上とする  
(取り組み内容)  
● 求職者に対する積極的な広報(特に、専門職種に対する広報)。  
● 育児・介護・配偶者の転勤等を理由に退職した社員に対する再雇用制度の導入・利用促進。  
目標2：専門職種に占める女性割合を30%以上とする  
(取り組み内容)  
● 職域拡大のための情報提供。  
● 一般職種を対象とした研修制度の導入。  
目標3：非正社員の職種・雇用形態の転換を実施する  
(取り組み内容)  
● 非正社員の処遇を見直す。  
● 非正社員を対象とした職種・雇用転換を促進する。

管理職・役職者に占める女性の割合



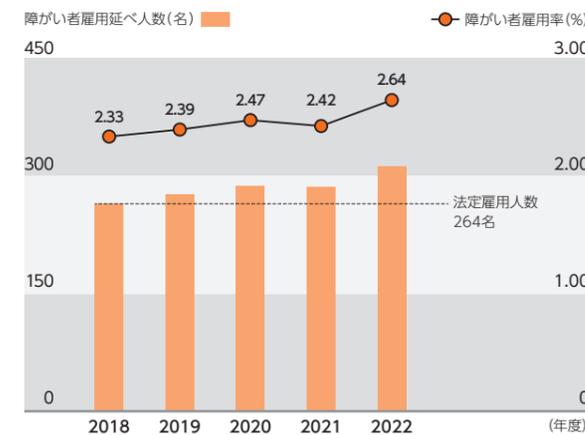
障がい者雇用

不二サッシは、社会福祉法人メイプルの運営などを支援し、社会的責務を果たすべく、障がい者の就業機会の確保に努めています。

障がい者雇用は、障がいのある方が障がいのない方とともに一般企業において働くという「ノーマライゼーション」の理念に基づいています。

コンプライアンスの観点からも、また、企業の社会的責任を果たすという観点からも労働力の多様性向上に取り組んでいきます。

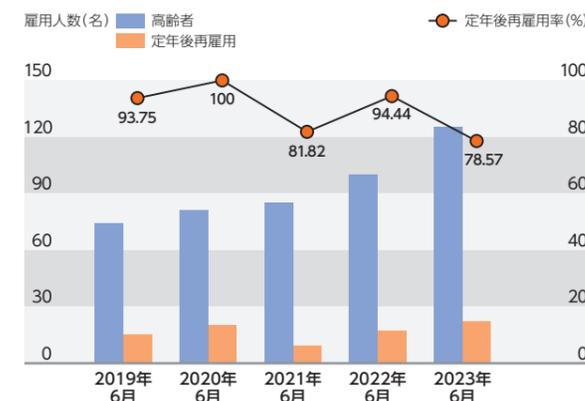
障がい者雇用実績



高齢者の再雇用

高齢者雇用は、少子高齢化が急速に進展し、人口減少に伴う労働力不足という中長期的な視点からも重要な課題です。不二サッシは、定年後も継続して勤務できる再雇用制度を導入し、就業機会を確保するとともに、それぞれの経験と知識を活かし活躍する環境を整えています。

高齢者雇用と定年後再雇用の実績



## 人的資本の育成

### 人的資本に対する基本的な考え方

不二サッシは、企業発展の原動力は優秀な従業員であるとの認識に立ち、次の目的に沿って教育訓練を行います。

- ① 会社の経営理念および経営方針に則り、会社の発展に貢献できるとともに、仕事に生きがいをもった創造的な従業員の育成を図る。
- ② 経営およびそれをとりまく社会情勢や技術革新の進展に伴って要求される能力要件が変化しても、それに対応できるような応変能力のある従業員の育成を図る。

教育訓練の種類	① 階層別集合研修	② 職場研修(OJT)
	③ 自己啓発支援研修	④ 海外語学研修

### 教育・キャリア支援

#### 1年目フォローアップ・3年目スキルアップ研修

毎年、入社1年目と3年目の社員を対象に研修を行っています。新入社員については、フォローアップを目的とし新入社員研修を振り返り、内容の再定着を行います。3年目研修では、主にスキルアップを目的とした研修内容となっていますが、実務に入り一人で仕事を任される機会も増え、壁にぶつかる時期にもなってくるため、ミスなどでモチベーションが下がったとき、自分自身でどう対処しているのかといった講義内容も近年では取り入れています。また、新入社員・3年目ともに現状を抱える不安など生の声を聞ける場でもあるため、希望に応じてヒアリングなども行うことで離職防止にもつながる研修と位置付けています。



1年目フォローアップ研修

#### 通信教育

従業員各自の自己啓発意欲を喚起し、それを促進する目的で通信教育の紹介、受講料の援助をしています。また、公的資格取得者には毎月手当を支給することで資格取得促進を図っています。

#### 適材適所の人材配置

年1回、従業員自らの考え(業務を行う上での自己評価、職場について感じていること、自らのキャリア形成、能力開発のために今後やってみたい職務等)を自己申告書に記録し、それをもとに職場の上司と話し合います。自己申告書は、従業員の適正配置、能力開発、教育指導等の参考にします。

### 公正公平な人事制度

職能資格制度に基づいて従業員の能力、成果、意欲を公正に評価することが、各人の能力、資質と士気を向上させ、適正な人事上の処遇(異動、配置、昇格、昇給、賞与および教育訓練等)につながります。

### 国際人材の登用

不二サッシフィリピン社(フィリピン共和国)に、「不二サッシ設計センター」を置き、現地従業員を日本国内での設計研修に参加させ、設計スキルの向上に努めています。また、優秀な現地従業員を、不二サッシに転籍させることで日本国内の事業場において一緒に仕事をする環境をつくっています。

また、中国籍の専門技術者を高度外国人材として採用しています。社内における日本語教育も充実させることで、国内拠点での活躍につなげています。

## 労働安全衛生

### 労働安全衛生に対する基本的な考え方

「安全衛生はすべてに優先する。安全衛生なくして生産性、品質の向上無し」という、トップの決意のもと、決めたことは守り、守らせて、不安全状態、不安全行動を完全に排除する職場づくりをすることを安全衛生管理の基本方針としています。

### 従業員の健康増進

不二サッシは不二サッシ健康保険組合と協同で、毎年実施する特定検診(定期健康診断)特定保健指導等により、従業員の健康状況を把握し、疾病の早期発見と予防のための適切な管理を行っています。

中でも、日本人の2人に1人が「がん」になるといわれており、その「がん対策」として早期発見、早期治療のため、希望者を対象に「人間ドック」「乳がん検診」「子宮がん検診」「前立腺検査(PSA)」の受診補助を実施しています。また、健康診断結果をもとに、再受診の勧奨や特定保健指導などのフォローを行っています。

2022年度の受診状況 単位:名

分類	対象者数	受診者数	受診率
前立腺検査(PSA)(45歳、50歳以上)	431	413	95.82%
乳がん検診	234	108	46.15%
子宮がん検診	234	67	28.63%

※被扶養者を含む

人間ドック補助利用者	本人 40	家族 2
------------	-------	------

被扶養者健康診断	主婦検診 103	事業所検診 15	集合契約 1	計119
----------	----------	----------	--------	------

### 秋田県警本部長より秋田県優良交通団体、交通安全功労事業所として表彰

不二サッシ東北秋田営業所は2022年4月に秋田県警本部長より秋田県優良交通団体として、また、2023年2月には同じく交通安全功労事業所として表彰されました。これは多年にわたり地域の交通事故防止の活動に参加し、交通秩序の確立、事故防止に貢献してきたことが評価につながりました。最近では勤務中の飲酒による悲惨な事故や、煽り運転による事故も多発している報道を目にします。日々のアルコールチェックや余裕を持った行動計画を立てることにより、事業所内で安全運転を推進していきます。また、近隣には保育園や公園もあり、小さな子どもやお年寄りの歩行者も多いため、歩行者優先を心掛け無事故・無違反を継続してまいります。



不二サッシ東北秋田営業所 吉田所長



### 育児に関する人事制度

	妊娠	産前6週	産後8週	1歳	2歳	3歳	小学校就学	小学4年
女性社員		出産休暇 医師等の指示による休暇						
全社員			育児休業(最長2歳まで)	※分割して2回取得可能				
			育児のための短時間勤務(1日2時間以内)					
			育児のための所定外労働の免除				子の養育の支援(短時間勤務)	
			育児のための深夜勤務の免除(22時~5時)					
			育児のための時間外労働の免除					
			子の看護休暇(1人の場合5日/年、2人以上の場合10日/年) ※時間単位取得可					
			育児時間(1回30分、2回/日)					
			有給休暇積立制度(最大20日/年)					
男性社員			特別休暇(3日)					
			産後パバ休	※出生後、8週間以内に4週間まで取得可能				

出産手当一時金(健保)  
出産手当金(健保)  
出産祝金(会社、厚友会)  
祝金(ユニオン)

記念品(ユニオン)

## ワークライフバランス

### 働きやすい制度・環境

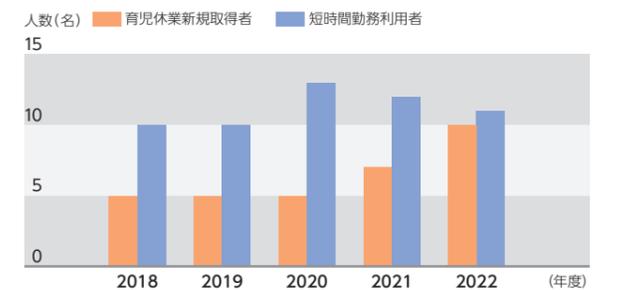
介護支援として、付与された年次有給休暇のすべてを半日ずつ使うことが可能です。また、「有給休暇積立制度」として、2年経過で消滅する年次有給休暇を1年間延長することができます。

働き方改革の施策の一つとして、時間を有効活用できる「テレワーク勤務制度」(在宅、サテライト、モバイル)を実施しており、育児・介護のために利用することも可能です。

### 仕事と育児の両立

育児休業期間が終了し、職場復帰後も、小学校第3学年が卒業するまでの間、育児を支援する短時間勤務等の制度を導入しています。

### 育児支援制度利用者数の推移



## 脱炭素に向けた取り組み

中期経営計画(2022-2024年度)における基本方針の一つに「脱炭素経営の実践」を掲げ、環境・社会課題を解決するものづくりやプロセス革新を続けることで持続可能な社会の実現への貢献を目指しています。

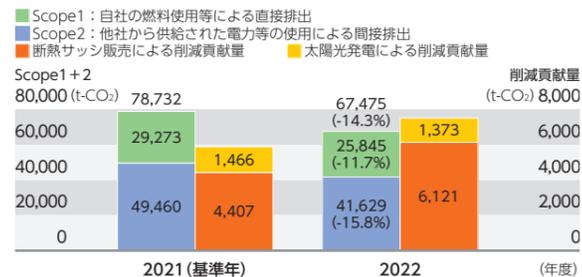
不二サッシグループは従来、自社活動由来(Scope1+2)のCO<sub>2</sub>排出量を報告してきましたが、2050年カーボンニュートラル実現に向けて、2021年度にはSBT(Science Based Targets: 温室効果ガス排出削減目標)認定取得をコミットしました。現在、排出量算定値の精緻化および2015年パリ協定の1.5℃目標を達成するための削減目標の策定を進めています。

排出量算定については、2021年度実績では不二サッシ本部およびグループ国内生産拠点の計14拠点までScope1+2を公表していましたが、2022年度はグループ全体まで範囲を広げました(67,475t)。排出源の内訳では電力が最大で約6割、次いで都市ガスが約2割を占め、そのほかすべてが生産段階に由来しています。

したがって脱炭素化を実現する施策として、生産時の使用エネルギー削減のため、LED照明への切り替え、設備の運転効率化や設備更新などを推進しています。併せて、

## 2022年度の事業活動における環境負荷

### CO<sub>2</sub>排出量 (Scope1+2) および削減貢献量



※断熱サッシ販売による削減量：単板硝子に対して当該商品を使用した場合の効果 (NEDO「断熱部材のLCCO<sub>2</sub>評価・算定法の標準化調査」成果報告書依拠)  
 ※太陽光発電による削減量：電力の調整後CO<sub>2</sub>排出係数、太陽光発電システムのCO<sub>2</sub>排出係数(47g/kWhと仮定)を用いて算出

### PRTR対象化学物質の届出(合計)

化学物質(t)	ニッケル及びその化合物	ホウ素及びその化合物	マンガン及びその化合物	ジクロロメタン	フッ素及びその水溶性塩	キシレン
取扱量	11.7	5.16	3.83	3.78	3.25	1.88
排出						
大気	-	-	-	-	0.06	1.69
水域	1.67	3.67	-	-	-	-

### 生産拠点マテリアルフロー

IN PUT	エネルギー							水資源		原材料
	電力(GWh)	都市ガス(km <sup>3</sup> )	LPG(t)	軽油(kL)	ガソリン(kL)	灯油(kL)	重油(kL)	上水・工水(kt)	地下水(kt)	アルミ投入量(kt)
	95.8	6,325	1,852	120	152	66.7	69.8	2,116	26.7	34,460
OUT PUT	大気への放出		水域への放出		廃棄物		製品			
	CO <sub>2</sub> (t)	水(kt)	産業廃棄物(t)	一般廃棄物(t)	アルミ生産量(kt)					
	63,000	2,142	13,481	204	37,391					

生産拠点：不二サッシ(千葉)、不二ライトメタル、関西不二サッシ、日海不二サッシ、北誠産業、アジアニッケイ、しらたか不二サッシ、北海道不二サッシ、山口不二サッシ、不二サッシ九州、大牟田アルミ建材、沖縄不二サッシ、不二サッシフィリピン社

自家消費を基本とする太陽光発電などの再生可能エネルギーへの転換も検討しています。

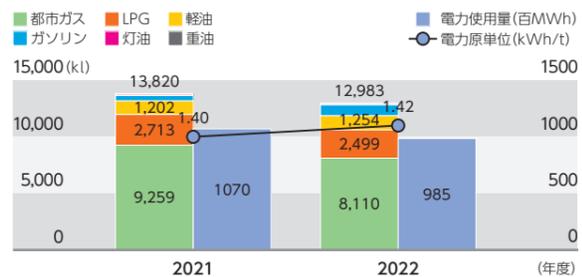
また、グループ全体のScope3については算定中であるものの、外部調達アルミニウム原材料(新地金)に由来する排出量がScope1+2+3において最大の割合を占める見通しです。

そのため、新地金に替えてアルミリサイクル材の外部調達量増加を喫緊の課題と考えており、アルミリサイクル材の確保と、アルミリサイクル率向上に合わせて品質を維持するための設備改造や技術開発を推進しています。

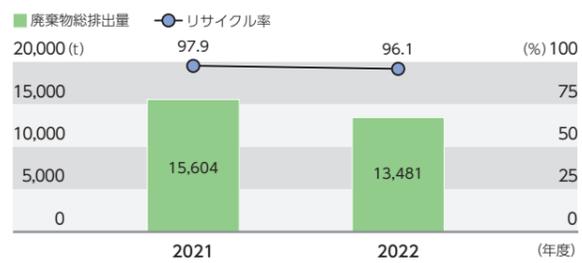
その他のサプライチェーン上の調達・物流におけるScope3についても、グリーン調達活動を継続しています。サプライヤーの皆様における排出量算定などの認識・取り組み状況をヒアリングし、その結果に合わせた情報提供なども実施しています。

また、不二サッシグループの排出削減貢献として、断熱サッシ商品の販売を通じた冷暖房の使用抑制と、千葉工場および関西不二サッシの建屋屋上を利用した太陽光発電があります。

### 燃料等使用量(原油換算)・電力使用量



### 産業廃棄物排出量・リサイクル率 (生産拠点13サイト)



\*アルミ投入量(鋳造)では外部購入ピレットを除外、アルミ生産量(押出)では含む

## 環境負荷低減に向けた取り組み状況

### 鋳造アルミリサイクル率60%超

不二ライトメタルの鋳造工程では押出の前工程としてピレットを生産しています。その原材料は、大別するとアルミ新地金とアルミスクラップに分けられ、千葉事業所で発生するアルミスクラップについては全量リサイクルしています。

アルミ新地金は精錬時に大量の電力を消費するため、温室効果ガスを大量に排出します。一方、アルミ製品の廃棄時に回収できるアルミリサイクル材は精錬せずに溶解して再利用可能であるため、アルミ新地金からアルミリサイクル材への転換は製品原材料に関わる脱炭素・資源循環型社会の実現に大きく貢献できます。

2022年度は鋳造時のアルミリサイクル率60%を目標としました。施策として不二サッシグループのスクラップに加えて外部調達を増やし、外部調達材の様々な形態に合わせて溶解炉への投入を変更するなどの工程改善の結果、目標値を上回ることができました。

**リサイクル材使用率向上**

- アルミ再生塊
- スクラップ束材
- シュレッター屑
- アルミプレス

**使用率低減**

- アルミ地金
- 母合金

今後の課題は、最終製品としてのピレットの要求品質と各工程の生産性の維持です。万一、誤った成分のアルミリサイクル材が溶解炉に混入した場合、品質規格を逸脱した合金成分となり、大きな損失につながりかねません。外部調達材の選定は十分慎重に行っていますが、納入前の現物確認や受入時の抜取成分測定などの品質チェックもさらに厳しく行う必要があります。

また、アルミリサイクル率向上には不純物増加や微量元素成分値上昇などの難点も伴いますが、改善を積み重ねつつ独自のリサイクル技術を確認し、さらなるアルミリサイクル率向上の実現に向けて取り組んでいきます。

### アルミリサイクル材対応鋳造炉への更新

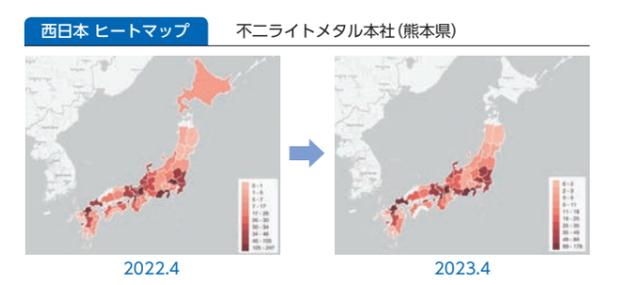
不二ライトメタル西資材生産部では環境・安全を第一に生産活動を行っています。その一環としてアルミリサイクル率向上に積極的に取り組んでいます(前項参照)。そのための手段の一つとして外部調達増量(市中スクラップ拡大)を進めていく必要がありますが、市中スクラップにはテープなどの異物が付着しているため、燃焼時のばい煙発生が環境リスクとなります。そこで、溶解炉で発生したばい煙を除去するため排ガス装置を導入しました(2023年1月稼働開始)。

### 東西最適生産マップによる運送距離短縮

不二ライトメタル資材管理部工程管理Gでは、形材販売の納入先に適した生産体制とするべく「東西最適生産マップ」を整理する取り組みを、製販連携で行いました。まず東西の工程管理Gで問題点をリストアップし、各支店からお客様へ説明して承諾を得たうえで押出ダイスの移管および新規製作を行い、東西Wマップに基づく生産を実施しました。

今後の課題として物流の「2024年問題」が注目されていますが、今後も継続して東西最適生産のマップ管理を推進して、運送距離短縮によるCO<sub>2</sub>削減に努めていきます。

### 東西最適生産マップ



## 変圧器の運転効率向上による省エネ改善

不二ライトメタル西技術G動力チームは、工場の省エネ改善を図る専門チームとして日々活動しています。その活動テーマのひとつが、設備の高効率化による省エネ改善です。2014年度より、電源設備である古い変圧器を効率の良いトランナー変圧器に更新し、電力損失を抑制してきました。

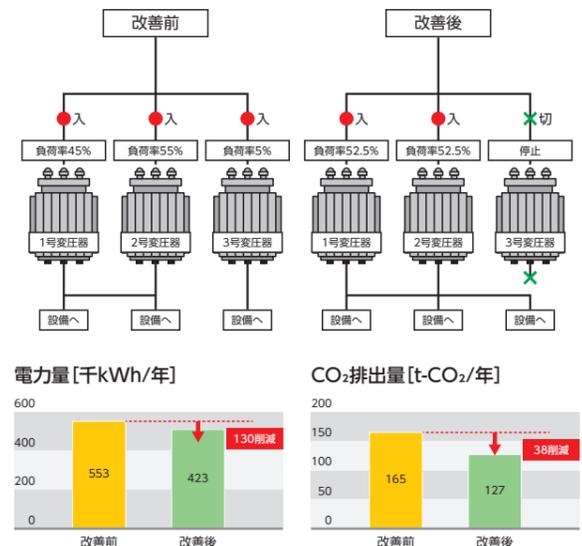
しかし、市場のニーズに適した生産体制に変更する中で工場設備の電力使用率が変化し、稼働効率の低い変圧器があることが判明しました。一般的に変圧器は定格60%出力(負荷率60%)付近で運転効率が最大となりますが、設備運用において負荷率が著しく低くなった稼働をしていると、電力損失が発生し効率が大きく低下します。

この課題を解決するために動力チームでは、負荷設備の集約化を図ることで変圧器を効率よく稼働でき電力損失を削減できる点に着目しました。各変電所に設置している変圧器の負荷状況を1台ずつ調査し、不効率な運転を行っている変圧器を割り出し変圧器を「無くす、止める、入れ替える」運用改善を実施し、省エネを図りました。

### ▶ 無くす(1台)、止める(3台)、入れ替える(4台)

今回実施した変圧器の運用改善で130千kWh/年の省エネ改善となり、CO<sub>2</sub>排出量38t-CO<sub>2</sub>/年削減に貢献しました。本社工場全体としては0.1%ほどの省エネ改善ですが、エネルギーの「無駄」を無くす意識改革と、ひいては、昨今のエネルギー高騰対策として、電力コストの削減にもつながります。動力チームでは今後も継続した工場設備の運用改善を実施し、見えない無駄を洗い出して省エネ改善に努めていきます。

### 変圧器の運用改善「止める」の事例



## デマンドレスポンス(DR)対応による電力安定供給への地域貢献と電力コスト削減

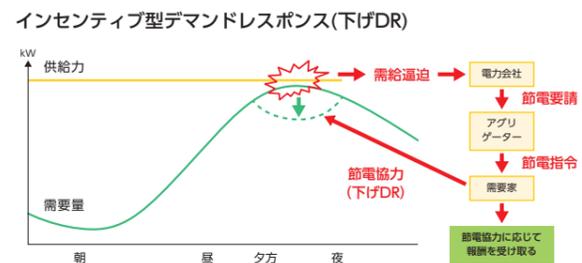
不二ライトメタル技術部では、2021年度からデマンドレスポンス(DR)の取り組みを開始しました。DRとは、電気を使用する側(需要家側)が電気の需要を調整し、電力の需要と供給のバランスを調整する仕組みです。

DRには様々な種類がありますが、弊社はインセンティブ型DR(ネガワット取引)に取り組んでいます。インセンティブ型DRは、「電力会社」と「需要家」、そして、両社の間に立って電力の需要と供給のバランスを保つ役割を担う「特定卸供給事業者(アグリゲーター)」の三者で取り組む事業です。2022年冬季に家庭への節電要請が話題となりましたが、インセンティブ型DRでは、市場の電力需給状況が逼迫した際に、電力会社から節電要請を受けたアグリゲーターが需要家へDR指令を発動し、需要家はあらかじめ取り決めた節電量まで電力の需要を抑え(下げDR)、その対価として報奨金を受け取ります。

需要家はDRに対応することで、電力コストを抑えることができ、ひいては需給逼迫に対応するために稼働させる火力発電所の稼働率を抑え、発電に使用する燃料消費量の低減・CO<sub>2</sub>排出抑制にも貢献できます。

不二ライトメタルでは、インセンティブ型DRに対応するために、技術部が司令塔となり、工場部門と連携した専門組織を結成しました。技術部で節電量をいち早く把握する仕組みを構築し、工場の節電設備の選定・停止要請を行いDRを実施したことで、2021年度に2回、2022年度に6回のDR発動の実施に貢献しました。

2023年度も引き続きDR対応をすることが決定しています。工場部門と連携し、電力市場の安定供給への貢献と電力削減に努めていきます。



### デマンドレスポンス対応回数



## 照明の節電

不二サッシグループでは、電力使用量削減策の一環として、継続的に工場および事務所の照明省エネ化を推進しています。

2022年度、しらかか不二サッシでは、前年に完了した工場内のLED化に続き、その他エリア(事務所、食堂、トイレ、廊下)のLED化を実施しました。さらに、トイレと廊下については使用後の消し忘れが課題となっていたため、この機会に人感センサー付きの照明に替えることで、消し忘れによる無駄な電力消費も削減しました。照明については一通り完了したため、今後はほかのエネルギー削減が可能なポイントを見つけ、引き続き省エネを推進していきます。

同様に、日海不二サッシでも、第2工場の水銀灯をLED化しました。同時に設置レイアウトも変更したことにより、照明撤去が可能なエリアができたことで省エネとなり、また暗かった場所を明るくできたことで作業性も向上しました。



## 工場排水における濁度の常時監視化

工場排水は公共用水域への放出前に、水質汚濁防止法など関係規制の基準値内であることを各種測定機器により確認しています。

不二ライトメタル本社(熊本県)および東資材生産部(千葉県)では、2021年度から安定した排水管理のため測定機器の導入・更新を進めており、2022年度は濁度計を両工場に導入しました。

濁度計によって排水の濁りを常時測定・監視し、管理値超過時にはアラート配信と同時に公共用水域への放出停止および緊急避難槽(異常排水貯留)への汲み上げを自動で行っています(従来から稼働中の測定機器と同じ仕組み)。



## 剪定後の樹木再利用(廃棄物削減)

関西不二サッシでは毎年多くの樹木を剪定し廃棄していましたが、この廃棄樹木の有効活用のため、粉砕機で樹木を粉砕して木チップとする処理に変更しました。木チップを緑地に敷き詰めて雑草の生長を抑制し、草むしりにかかる労務費を削減しています。

一方、粉砕機の使用に際してはいくつか課題もありました。まずは騒音(約80~110dB)対策で、近隣住民の迷惑にならない作業場所を選定しました。次に、粉砕機に入るサイズまで樹木を小さくするために普段使わない工具(鉋、ジグソー)に慣れる必要がありました。最後に、粉砕機による労働災害の防止です。初心者には必ず安全教育を行い、特に、樹木の投入時に腕が巻き込まれないよう一定の距離を取ることを徹底しました。

こうした苦労はありましたが、廃棄物削減を通じて環境保全に貢献するという意義が励みとなりました。今後もこの活動は継続しつつ、新たな試みにも取り組んでいきます。



## ペーパーレス化

不二サッシグループでは無駄な紙の使用を削減するため、様々な取り組みを行っています。

その中で、不二サッシでは株主様向け資料一式を書面でお送りしていたものを、2022年より議決権行使書と招集通知のみを書面で、その他の資料は不二サッシWebサイトおよび東京証券取引所ホームページでのご提供へと変更しました。ハガキで送付していた中間報告書についても、今後電子化を検討しています。

不二ライトメタルでは社内申請書を電子ワークフロー化し、申請処理に伴う業務の効率化・迅速化に貢献しています。特に承認者が不在でも外出先で承認できるよう業務プロセスを改善した点に、大きな効果がありました。

しらかか不二サッシでは「無駄な紙の使用の削減」、「確かな情報伝達」、「データ保管のためのスキャン時間削減」を目的に、FAX受信時の自動紙出力を廃止し、各PC端末へPDFの自動メール配信に切り替えました。今後も紙出力を行っている業務を洗い出し、さらに改善を進めていきます。

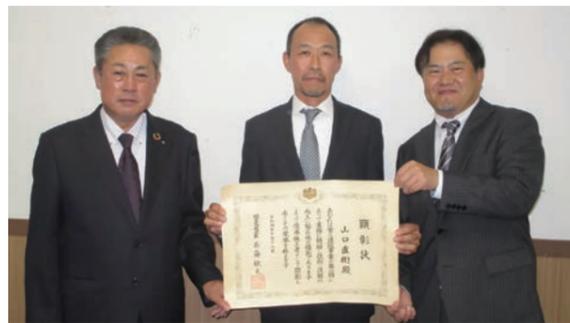
## ステークホルダーとのコミュニケーション

### 令和4年度「優秀施工者国土交通大臣顕彰」

令和4年度「建設マスター」顕彰式典が2022年10月18日(火)東京都千代田区の「有楽町よみうりホール」にて開催されました。出席者人数制限はありましたが、コロナ禍になってから中止されていた顕彰式が再開され、2022年度は不二サッシ工事共済会東北支部、(株)山口工業の山口直樹社長が不二サッシより推薦され、厳しい審査をクリアして受賞されました。

国土交通省では、建設産業の第一線で「ものづくり」に直接従事されている方々に誇りと意欲をもっていただくとともに、これらの方々を広く国民に知っていただき、その社会的評価・地位の向上を図っていくことを目的として、特に優秀な技術・技能を有し、後進の指導・育成等に多大な貢献をされている建設技能者の方々を対象として、優秀施工者国土交通大臣顕彰(建設マスター)を実施しています。

建設マスターの顕彰は1992年度より実施していますが、第31回となる2022年度は487名を顕彰し、建設マスターは計11,953名となります。



顕彰状受賞後 写真左：(株)不二サッシ東北 河合社長、中央：(株)山口工業 山口社長、右：(株)不二サッシ東北 高橋施工管理部長

### 不二サッシ建材特約店会の全国総会開催

「2022年度不二サッシ建材特約店会全国総会」を建材特約店と販売会社、関係会社を含め総勢81名で開催しました。

総会は吉田社長(当時)の挨拶で始まり、(株)加藤商店山崎社長に特約店代表としてご挨拶をいただきました。続いて中低層・フロント事業部の方針と2022年度の重点施策、商品開発の状況、個別防火設備の現状と開発予定、品質管理について、それぞれ説明を行いました。

「2021年度建材作品コンテスト」の表彰式も行われ、最優秀賞の日建興業(株)をはじめ、入賞した17作品に対して吉田社長(当時)が表彰状と賞金を授与しました。また受賞された皆様には苦労話や担当者の思い、協力をいただいた方へのお礼など、様々な受賞コメントをいただきました。



特約店代表で挨拶される(株)加藤商店 山崎社長



「建材作品コンテスト」最優秀賞受賞 日建興業(株) 齊藤部長

### 「2021年度建材作品コンテスト」受賞一覧

部門	賞	特約店名
最優秀賞		日建興業(株)
本部長賞		(有)江口工業
営業企画部長賞		(株)湘南サッシ商会
事業部長賞		古川オール(株)
アルビーム賞		(株)不二サッシ東海
一般物件部門	金賞	(株)加藤商店
	銀賞	(株)不二サッシ関西
	銀賞	新装サッシ工業(株)
	銀賞	奈良不二サッシ(株)
店舗物件部門	銀賞	日本硝子建具(株)
	金賞	(株)松本アルミ
	銀賞	(株)明治製作所
リニューアル部門	銀賞	新装サッシ工業(株)
	金賞	古川オール(株)
創造作品部門	銀賞	矢谷板硝子(株)
	金賞	(株)旭技建
	銀賞	新装サッシ工業(株)

### 2022年日本産業広告賞 入賞

日刊工業新聞社が主催する「2022年日本産業広告賞」において、不二サッシの広告が「新聞部門 シリーズ広告賞 第3席」を受賞しました。「日本産業広告賞」は、1966年にスタートした日本の代表的な産業広告賞です。今回入賞したシリーズでは、100年企業に向け、「進化」と「深化」を押し進める不二サッシグループの姿をアピールしました。

#### 入賞作品



## 第三者意見

戸村 智憲 様 日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長



元・国連の専門官として、国連戦略立案業務専門官リーダー、内部監査業務、SDGs・ESG関連の実践指導・普及啓発などを担当。国連退官後、岡山大学大学院非常勤講師、経営行動科学学会理事、上場IT企業のアドバイザー、コーポレート・ガバナンス・アワード大賞選考委員長などを歴任。

元・国連の専門官としてSDGs・ESG関連の普及啓発にあたり、上場各社の取締役・監査役などを指導する立場にあり、官公庁関連の有識者・監査専門委員などを担当してきた当職が、不二サッシ株式会社のCSR全般に関する独立的・客観的な観点から第三者意見をご提供いたします。

なお、当該意見は、サステナビリティに関する同社からの提出データおよび書面などで把握し得る範囲で取りまとめており、隠れた問題や今後の問題などが無いことを保証するものではありません。

### サステナビリティへの一貫した取り組み

不二サッシ株式会社の経営トップの交代を機に、人権を出発点とするESG・SDGsのこれまでの良好な取り組みや方針などへの負の影響は、特に見受けられませんでした。

むしろ、中期経営計画においては、サステナビリティを軸に据えて推進室の新設も行われており、経営トップの交代を契機に、より一層のサステナビリティへの注力が期待されるものと思われます。

長期にわたって同社のサステナビリティの取り組みをチェックしてきましたが、総じて、これまでの着実な歩みに加えて、さらなる進展・自助努力の姿勢が見受けられます。

年度・時期・社会的状況などにより若干のアップダウンはあったとしても、人権などの取り組みで重要視される、着実に取り組みを漸進的に進める「プロGRESS」は、一貫して堅調であると評価して良いものと思われます。

### 人権・ESG・SDGsへの取り組みを支える存在

そもそも、同社は建物・建設・建築などの業界において、ESG・SDGsを加速させる上で欠かせない商品・サービスを提供している企業と見受けられます。

同社の省エネ製品や各種サービスは当然ながら、その製造過程・提供するプロセスにおいても、同社の主力製品の原料であるアルミのリサイクルの徹底や溶解炉の高性能化に加え、社会的な物流の問題やCO<sub>2</sub>削減にも利益を増すコスト削減にもつながる輸送距離短縮の取り組みなどは、高く評価し得る点と見受けられます。

また、国際紛争を契機にひっ迫しているエネルギー問題においても、対症療法的な対応にとどまらず、同社の積極的な取り組みがうかがい知れる原因究明と根本的対策として、変圧器の運転効率向上での省エネへの取り組みは、さりげないことのようにサステナビリティにおいて非常に有意義です。

### 第三者意見を受けて

不二サッシ株式会社 執行役員 サステナビリティ推進室長 吉原 和仁

戸村様には例年どおり、当社サステナビリティレポート2023発行にあたりSDGs・ESG関連の専門的立場から貴重なご意見、ご評価をいただき御礼申し上げます。

現在、中期経営計画(2022-2024年度)ではメッセージを「サステナブルな社会実現への貢献「選ばれる企業グループへ」とし、サステナビリティを経営戦略の重要事項と捉え、社会情勢や事業環境を踏まえマテリアリティを特定し、

さらに、社会的な電力問題を解決するため、企業・電力利用者・社会全体にそれぞれコスト削減・CO<sub>2</sub>削減・燃料消費量削減などでメリットも生み出せるデマンドレスポンスにも、同社が積極的に取り組んでおり好感が持てることです。

提供する製品・サービスを生み出す不二サッシ自体やサプライチェーン全体での対応についても、障がい者雇用・ノーマライゼーションの取り組みにも積極的であり、人材育成においても多様性の尊重と受け入れあい(DE&I)に努めており、同社自体の取り組みも健全であると見受けられます。

トップのコミットメントをもとに、同社の運営・マネジメントにおいて、省エネ・創エネ・設備省エネの3つの柱をもって、これまでの自社太陽光発電に加えて、自社商品としても窓ガラス内に太陽光発電モジュールを組み込んだ製品の開発・提供も進めており、同社の熱心な取り組み姿勢がうかがえます。

各社で不意に組織運営のコンプライアンス上の問題が表出し得る交通事故などにおいては、善良な企業として警察本部長からの表彰も受けており、目立ちにくく長期的な取り組みが必要な点にも、たゆまぬ真摯な取り組み姿勢が見て取れます。

### さらなる取り組みへの期待

人権の取り組みにおいては、大きくは、方針策定や人権啓発・人権侵害の予防といった予防的対策と、人権侵害が疑われる際や人権侵害があったと当事者・他者が判断した際の相談・苦情申し立て・公益通報・人権救済措置などの事後的対策が重要となります。

その点で、適切に取り組まれていると見受けられるにも関わらず、コーポレートガバナンス・コードにも関わる公益通報対応や人権救済措置(各種ハラスメント事案の公正公平な対処などを含む)などの事後対応の取り組み状況が、ある程度は第三者が理解しやすい形で示され、社会との良き対話の促進が期待されます。

それらの達成により、社会課題の解決と経営戦略の共通価値の創造を目指しており、サステナビリティ推進室を新設し、対応を強化しています。

ご期待いただきました人権の取り組みに関する開示等にもその重要性を十分に認識して取り組んでゆく所存です。

戸村様には引き続きご指導賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



**不二サッシ**

<https://www.fujisash.co.jp/>

## 不二サッシ株式会社

本 社 〒 212-0058  
神奈川県川崎市幸区鹿島田 1丁目 1番 2号  
TEL 044-520-0034

東京本部 〒 141-0031  
東京都品川区西五反田 4丁目 32番 1号  
TEL 03-6867-0770

内容に関するお問い合わせ先 .....

**サステナビリティ推進室**

TEL: 03-6867-0755 E-mail: sustainability@fujisash.net

**UD FONT**  
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。